

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	02保健福祉-管理運営事業		
細事業名	01 保健福祉-管理運営事業			決算書	P.166	
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進		
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率
1,424千円		1,444千円		20千円		98.6%
						(参考)当初予算額
						1,256千円
目的	保健事業の拠点となる保健センター（大宮、網野）の適切な維持管理及び運営を行い、市民の疾病予防、健康の保持増進を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>乳幼児健診、予防接種、健康・介護予防教室事業等の保健事業が円滑に実施され、市民の保健福祉増進の拠点として機能した。</p> <p>○大宮保健センター（利用者：52件、1,572人） 189千円</p> <p>消耗品費 1千円</p> <p>プロパンガスの燃料費 33千円</p> <p>備品購入費（除湿機4台） 155千円</p> <p>○網野保健センター（利用者：93件、3,480人） 839千円</p> <p>消耗品費 28千円</p> <p>プロパンガスの燃料費 33千円</p> <p>光熱水費（電気・水道） 583千円</p> <p>施設修繕料 72千円</p> <p>ごみ処理手数料 1千円</p> <p>火災保険料 5千円</p> <p>施設清掃等の委託料 117千円</p> <p>○丹後保健センター（利用者：5件、60人） 8千円</p> <p>光熱水費（電気・水道） 4千円</p> <p>電話代 2千円</p> <p>電話回線撤去手数料 2千円</p> <p>※H25年4月1日から丹後庁舎に保健センターを併設</p> <p>○弥栄保健福祉センター（利用者：23件、384人） 388千円</p> <p>土地借上料（991.73㎡）ほか 388千円</p> <p>○久美浜保健センター（利用者：36件、552人）</p> <p>※維持管理経費は久美浜庁舎管理事業から支出</p>					
主な財源						
評価・課題等	施設の適正な維持管理を行うことで、各種保健事業が円滑に実施され、保健福祉増進の拠点として貢献することができた。					
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	03自殺予防対策事業																	
細事業名	01 自殺予防対策事業			決算書	P.166																
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進																	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率															
2,640千円		2,650千円		10千円		99.6%															
						(参考)当初予算額															
						2,499千円															
目的	かけがえのない生命が自らの手で絶たれているという痛ましい現実の中、自殺者をなくすために市民、行政、関係機関及び団体等が一体となって自殺予防対策を推進する。																				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>自殺対策における現状と課題を明らかにし、自殺対策を総合的かつ効果的に推進していくため、「自殺のないまちづくり行動計画」を策定した。</p> <p>「京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会」の構成団体と連携・協働し、悩みを抱える人への「気づき」を大切に、人材の養成に重点を置いた事業（こころ・いのち・つなぐ手研修、傾聴講座）を展開するとともに、臨床心理士によるこころの健康相談、こころの健康づくり講演会（こころの健康相談会を同日開催）、フリーアクセスによる無料電話相談を引き続き実施した。</p> <p>さらに市民への啓発活動として、4回の街頭啓発を実施。概ね1,400人に啓発物品を配布した。</p> <p>○フリーアクセス相談窓口受入謝金（京都いのちの電話） 100千円</p> <p>○フリーアクセス通話料 800件 731千円</p> <p>○こころ・いのち・つなぐ手研修会（2回開催）（参加者：延べ100人） 85千円</p> <p>○傾聴講座（2回開催）（参加者：延べ60人） 198千円</p> <p>○こころの健康相談（毎月1回）</p> <p>臨床心理士による相談日開設（相談者：延べ31人） 418千円</p> <p>○こころの健康づくり講演会及びこころの健康相談会 110千円</p> <p>平成25年10月26日（土）</p> <p>演題「人を幸せにする魔法のことば」参加者：73人、「健康相談会」参加者：3人</p> <p>○自殺予防街頭啓発（協議会構成団体、丹後保健所及び市職員で実施）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>会場</th> <th>啓発物品配布数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月24日</td> <td>マイン（峰山）</td> <td>400セット</td> </tr> <tr> <td>9月10日</td> <td>にしがき（大宮バイパス店）</td> <td>350セット</td> </tr> <tr> <td>12月5日</td> <td>Aコープ（あみの・くみはま）</td> <td>300セット</td> </tr> <tr> <td>3月13日</td> <td>フレッシュバザール・にしがき（間人店）</td> <td>350セット</td> </tr> </tbody> </table> <p>○研修関係旅費等 573千円</p> <p>○その他共通経費（消耗品・印刷製本等） 425千円</p>						日程	会場	啓発物品配布数	5月24日	マイン（峰山）	400セット	9月10日	にしがき（大宮バイパス店）	350セット	12月5日	Aコープ（あみの・くみはま）	300セット	3月13日	フレッシュバザール・にしがき（間人店）	350セット
日程	会場	啓発物品配布数																			
5月24日	マイン（峰山）	400セット																			
9月10日	にしがき（大宮バイパス店）	350セット																			
12月5日	Aコープ（あみの・くみはま）	300セット																			
3月13日	フレッシュバザール・にしがき（間人店）	350セット																			
主な財源	府補 自殺対策事業補助金（10/10） 2,499千円																				
評価・課題等	<p>○各事業を通して、参加者がこころと身体の健康増進を図ること、悩んだ時は支援を求め、悩み苦しんでいる人に気づき・相談窓口につなぎ・見守ることの重要性について、理解を深めてもらうことができた。</p> <p>○平成26年3月に「京丹後市自殺のないまちづくり行動計画」を策定した。今後、総合的な自殺予防対策を推進するため、自殺未遂者支援及び自死遺族者支援について取り組むことが必要である。</p>																				
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	04食育推進計画策定事業		
細事業名	01 食育推進基本方針策定事業			決算書	P.168	
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
524千円	529千円	5千円	99.0%	449千円		
目的	農業、教育等各分野と連携を図りながら「食育推進基本方針」を策定し、生涯にわたって間断なく食育を推進する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>「食育推進基本方針策定委員会」を3回、庁内食育推進会議を7回開催した。各分野での食育に対する考え方や現状、課題を明らかにし、市の食育の方向性や取組みを体系化した「食育推進基本方針」を策定した。</p> <p>市民へ広く周知するために、「食育推進基本方針概要版」を作成し各戸配付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報償費 172千円 <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー謝金 100千円 ・食育推進基本方針策定委員会委員謝金(10人) 72千円 ○旅費 157千円 <ul style="list-style-type: none"> ・委員会委員費用弁償 9千円 ・先進地視察(新潟県三条市:6人) 148千円 ○需用費(食育推進基本方針概要版21,000部印刷ほか) 181千円 ○使用料(視察に係る有料道路通行料) 14千円 					
主な財源						
評価・課題等	<p>○庁内食育関連課との連携・整合性を図り、食育推進の方向性の確認をすることができた。</p> <p>○市民へ「食育」についての周知、啓発を図るための各種情報発信や食育推進基本方針を基に、地域、関係団体、関係機関等と連携した取組みを推進する必要がある。</p>					
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	50保健衛生総務一般経費		
細事業名	01 保健衛生総務一般経費			決算書	P.168	
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
10,516千円	10,569千円	53千円	99.4%	10,482千円		
目的	各種保健事業の実施に必要な臨時職員の任用や各種研修等への参加により、保健事業を円滑に行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>各種保健事業の実施に伴い必要となる臨時職員の任用、各種研修・研究会等への参加及び旧丹後保健センターの維持管理を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産休代替保健師の任用経費(保健師6人、栄養士2人) 5,660千円 <ul style="list-style-type: none"> 社会保険料・雇用保険料 702千円 臨時保健師賃金 4,651千円 臨時栄養士賃金 307千円 ○職員研修等経費 615千円 <ul style="list-style-type: none"> 普通旅費(研修旅費) 513千円 消耗品費(事務用品、書籍ほか) 102千円 ○旧丹後保健センター維持管理経費 18千円 <ul style="list-style-type: none"> 光熱水費 4千円 火災保険料 6千円 消防設備等保守点検委託料 8千円 ○健康管理システム保守経費(負担金) 2,600千円 <ul style="list-style-type: none"> 共同利用負担金(保守経費) 1,560千円 システム移行負担金 1,040千円 ○その他の経費 378千円 <ul style="list-style-type: none"> 栄養士会・保健師協議会等負担金 95千円 医薬材料費 19千円 保健福祉事業医療賠償保険料 76千円 修繕料(公用車修繕) 188千円 ○償還金 1,245千円 <ul style="list-style-type: none"> 前年度感染症予防事業等国庫補助金補助金返還金 1,245千円 					
主な財源	国補	感染症予防事業補助金(1/2)				50千円
	諸収入	市有自動車損害共済金				17千円
	諸収入	自動車事故損害賠償金				168千円
評価・課題等	<p>○研修会等への参加により、専門職としての知識や経験の習得を促すことができた。</p> <p>○今後も法改正等による事業内容の増加や変更が想定されるため、継続して各種研修会等に参加し、保健指導の専門性をさらに深める必要がある。</p>					
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	01地域健康づくり推進事業																
細事業名	01 地域健康づくり推進事業			決算書	P.168															
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進																
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																
258千円	317千円	59千円	81.3%	317千円																
目的	健康づくりに対する意識を啓発するとともに、健康づくりの重要な要素である栄養の視点から食生活改善のための地域活動を推進する。																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>健康づくりに欠かせない食生活の視点から、健康づくりを推進するため、食生活改善推進員を対象に管理栄養士による研修を実施。それを受けて食生活改善推進員が地域住民へ、生活習慣病予防などのための伝達講習会を行い、市民の健康づくりを支援した。</p> <p>【事業実施状況】</p> <p>◎地域活動を進めるための研修会 63千円</p> <p>○総会時全体研修会「運動の効果と手軽な運動」 講師：健康運動指導士 家谷美穂子 氏 (参加人数：71人)</p> <p>○各支部の研修会 担当：健康推進課管理栄養士 6支部×1回開催 (参加人数：99人) 「朝食を食べよう～適正体重の維持～」 講話と調理実習</p> <p>事業費：講演会講師謝金(6千円)、消耗品費(56千円)、会場借上料(1千円)</p> <p>◎地域伝達講習会 195千円 28回開催、参加人数：延べ428人 食生活改善推進員により、健康づくりに欠かせない食生活の視点から生活習慣病予防などのための講習会を行い、市民の健康づくりを支援した。 事業費 食生活改善推進員謝金(3,000円×54人=162千円) 消耗品費(33千円)</p> <p>【会員数】 ※H26.3月末現在</p> <table border="1"> <tr> <td>峰山</td> <td>大宮</td> <td>網野</td> <td>丹後</td> <td>弥栄</td> <td>久美浜</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>31人</td> <td>33人</td> <td>27人</td> <td>40人</td> <td>32人</td> <td>19人</td> <td>182人</td> </tr> </table>						峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	31人	33人	27人	40人	32人	19人	182人
峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計														
31人	33人	27人	40人	32人	19人	182人														
主な財源																				
評価・課題等	<p>○食生活改善推進員を対象とした研修会を実施することにより、食に関する豊かな知識を得ていただくとともに、地域における普及活動を支援できた。</p> <p>○壮年期及び高齢期だけでなく、子育て世代も対象に地域伝達講習会を実施し、市民の健康づくりを支援することができた。</p> <p>○今後も市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいけるよう、正しい知識を普及啓発していく必要がある。</p>																			
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課																			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	02健康長寿のまちづくり推進事業		
細事業名	01 健康長寿のまちづくり推進事業			決算書	P.170	
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	⑥ 安心して暮らせる高齢者福祉の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
1,700千円	1,737千円	37千円	97.8%	1,893千円		
目的	「喜ぼう!感謝しよう!長寿社会」を高く掲げ、老いや長寿の中にこそある喜びや宝をもっと発見し、長寿をますます喜び、感謝することができる機運・環境づくりを推進する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>第6回健康大長寿のさとづくりフォーラム 開催日：平成25年11月9日(土)午前10時から午後3時40分 会場：京都府丹後文化会館大ホール 来場者数：686人 テーマ：健康寿命を伸ばそう!～生涯現役のすすめ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニア世代で構成する市民サークルのステージ発表 ・市内外の“生涯現役実践者”によるトークコーナー ・「京丹後」百寿人生のレシピ完成披露講演会&シンポジウム ・レシピ集をモチーフにした長寿食の試食コーナー、長寿弁当の販売 <p>○報償費(基調講演講師、パネリスト、セミナー講師等) 945 千円 ○旅費(講師等旅費) 14 千円 ○消耗品費(事務用品等) 142 千円 ○食糧費(講師等昼食代) 8 千円 ○印刷製本費(シンポジウム冊子、ポスター、リーフレット) 226 千円 ○役務費(新聞折込手数料 市内のみ1回) 64 千円 ○委託料(会場警備料、情報通信機器等設置委託料) 43 千円 ○会場借上料(京都府丹後文化会館 前日、当日の2日間) 248 千円 ○有料道路通行料 10 千円</p>					
主な財源	府補	地域包括ケア総合交付金				1,345千円
評価・課題等	<p>○シニア世代で構成する市民サークルのステージ発表や市内外の生涯現役実践者による生涯現役サミットなど新企画を取り入れ、生涯現役社会の実現に向けた、より実践的な手法を考える場とすることができた。</p> <p>○「京丹後」百寿人生のレシピに掲載された料理の試食コーナーや長寿弁当の販売など、市民の健康づくりに役立ててもらおうとともに、郷土食を活かした「健康長寿のまち京丹後」をPRすることができた。</p>					
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	02健康長寿のまちづくり推進事業
細事業名	03 長寿食の集大成事業			決算書 P.170
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
2,240千円	2,241千円	1千円	99.9%	901千円
目的	本市の百寿者の食事や伝統食、地場食材等を盛り込んだ長寿食レシピ集を作成し、市民の健康づくりに活用するとともに、旅館や飲食店等に提供し、観光振興などにも寄与する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>長寿の秘訣は「食」にあるのではないかと考え、長寿世界一の故木村次郎右衛門さんをはじめ、市内在住の百寿者の方に、4つのライフステージに分けて、幼少期から現在に至るまでの食生活について訪問聴き取り調査を行い、この結果をもとに「～今に生きる～京丹後百寿人生のレシピ」を作成した。</p> <p>作成部数 初版4,000部、増刷3,000部×2回 計10,000部 販売部数 8,538冊（販売収入額1,755千円） 全国で販売 販売先 京丹後市内の各書店 結果活用 おかみさんの会や京都府丹後広域振興局との連携により、長寿朝食プラン、長寿食御膳、長寿弁当の開発及び販売につながり、観光振興にも活用できた。</p> <p>○報償費 30千円 レシピ作成協力謝金 食生活改善推進員（10人） 30千円</p> <p>○需用費 1,855千円 消耗品費 8千円 撮影用食材料費 29千円 レシピ集作成印刷製本費 1,818千円</p> <p>○役務費 5千円 白布クリーニング代 5千円</p> <p>○委託料 350千円 レシピ集作成業務委託料 350千円</p>			
主な財源	諸収入 〓〓 集販売収入金			1,755千円
評価・課題等	<p>○百寿者に幼少期から現在に至るまでの食生活調査を実施し、具体的な「京丹後の食」を知ることができ、秘訣を盛り込んだ『京丹後百寿人生のレシピ』を作成することができた。</p> <p>○書店の協力により、京丹後市内だけでなく、全国の方へ発信するとともに、関係機関等との連携により、長寿食の開発及び販売につながり、観光振興に寄与することができた。</p> <p>○作成したレシピ集を、健康づくりや、次世代に長寿が受け継がれるよう食育推進にも活用していく必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	03健康づくり推進員活動事業														
細事業名	01 健康づくり推進員活動事業			決算書 P.170														
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進														
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額														
1,057千円	1,119千円	62千円	94.4%	1,255千円														
目的	地域の健康づくりリーダーとして健康づくり推進員を委嘱し、その研修と活動の支援を行うことで、市民主体の健康づくりを地域で推進する。																	
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>歩いてすすめる健康づくりを推進するため、健康づくり推進員を対象に、正しいウォーキングの研修を行うとともに、地区健康ウォーキングを実施した。また、市民全体のウォーキングの機運を高め、実践できるようウォーキングマップを作製するとともに、秋には、京丹後ジオ健康ウォーキングを実施した。</p> <p>○研修会の開催 全体研修会 : 平成26年3月4日 参加人数: 88人 講演「腸は全身の司令塔～目指せ腸内革命～」 講師: 京都府丹後保健所長 ブロック研修会 : 6月に4回実施 参加人数: 84人 講演「安全で効果的なウォーキング」 講師: 健康運動指導士</p> <p>○京丹後ジオ健康ウォーキング: 平成25年10月20日 参加人数: 150人 3km、8kmコースをウォーキング</p> <p>○ウォーキングマップ作成 800部 市内12コースを掲載(各町2コース)</p> <p>○地区健康教室 4回(健康運動指導士) 参加人数: 67人</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進員活動謝礼品(3,000円×223人) 669千円 健康運動指導士謝金 48千円 需用費(用紙代、ウォーキングマップ・ハンドブック印刷代など) 210千円 役務費(研修会案内郵送代など) 130千円 <p>○健康づくり推進員(平成26年3月31日現在)</p> <table border="1"> <tr> <td>峰山</td> <td>大宮</td> <td>網野</td> <td>丹後</td> <td>弥栄</td> <td>久美浜</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>48人</td> <td>33人</td> <td>36人</td> <td>23人</td> <td>13人</td> <td>70人</td> <td>223人</td> </tr> </table> <p>任期: 平成24年4月1日～平成26年3月31日(2年間)</p>				峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	48人	33人	36人	23人	13人	70人	223人
峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計												
48人	33人	36人	23人	13人	70人	223人												
主な財源	府補 健康増進事業費補助金(2/3)			234千円														
評価・課題等	<p>○第2期推進員の2年目の年であり、地域の健康づくりに目を向ける意識が高まってきた。一方で、1年交代の地区では、活動の基盤ができにくく、地区活動が進まない課題がある。</p> <p>○歩いてすすめる健康づくりの推進に向けて、地区ウォーキングの取組や健康教室の開催など推進員活動が活発化してきた。今後は、組織的な取組の強化と、ウォーキングマップの有効活用が必要である。</p>																	
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課																	

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	04在宅健康管理システム事業															
細事業名	01 在宅健康管理システム事業			決算書	P.170														
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進															
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額															
2,753千円	2,776千円	23千円	99.1%	2,776千円															
目的	市民が在宅での血圧測定を習慣化し、健康管理意識を高めるため、自動血圧計と専用の携帯端末機を貸出し、生活習慣病や早世、寝たきりなどの予防を推進していく。																		
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民が在宅で、自動血圧計と携帯電話網に接続した専用端末機を使い、健康情報（血圧、脈拍、体調、歩数、体重）を市のサーバに送信。送信されたデータを保健師等がモニタリングし、必要に応じて健康指導を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>○消耗品費（指導用リーフレットほか）</td> <td>88千円</td> </tr> <tr> <td>○通信運搬費（結果レポート郵送通知）</td> <td>60千円</td> </tr> <tr> <td>○委託料（情報通信技術業務委託料）</td> <td>2,520千円</td> </tr> <tr> <td>○使用料（ソフトウェア使用料）</td> <td>85千円</td> </tr> </table> <p>○利用状況（平成25年4月～平成26年3月累計）</p> <p>利用者数 延べ 185人 最大稼働月4月：116台、最小稼働月2月：72台 年間平均稼働率 51.8% 1人当たりの血圧データ送信回数/月 34.4回</p> <p>○指導状況</p> <table border="0"> <tr> <td>電話での保健指導（対応）</td> <td>延べ 89件</td> </tr> <tr> <td>メール指導</td> <td>延べ 1,496件</td> </tr> <tr> <td>訪問・来所</td> <td>延べ 105件</td> </tr> </table>					○消耗品費（指導用リーフレットほか）	88千円	○通信運搬費（結果レポート郵送通知）	60千円	○委託料（情報通信技術業務委託料）	2,520千円	○使用料（ソフトウェア使用料）	85千円	電話での保健指導（対応）	延べ 89件	メール指導	延べ 1,496件	訪問・来所	延べ 105件
○消耗品費（指導用リーフレットほか）	88千円																		
○通信運搬費（結果レポート郵送通知）	60千円																		
○委託料（情報通信技術業務委託料）	2,520千円																		
○使用料（ソフトウェア使用料）	85千円																		
電話での保健指導（対応）	延べ 89件																		
メール指導	延べ 1,496件																		
訪問・来所	延べ 105件																		
主な財源	府補 未来づくり交付金（在宅健康管理システム事業）			1,000千円															
評価・課題等	<p>○利用者の血圧値の改善状況は、改善48%、変化なし39%、悪化13%であり、本事業の利用をきっかけに、生活改善に取り組んだ方は58%であり、健康管理意識の向上につながっている。</p> <p>○稼働率の向上に向け、より多くの市民に順次利用していただくため、今後も周知、勧奨等を継続していく必要がある。</p>																		
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																		

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	01不妊治療費助成事業																																																					
細事業名	01 不妊治療費助成金			決算書	P.172																																																				
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進																																																					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																																																					
1,262千円	1,276千円	14千円	98.9%	1,000千円																																																					
目的	少子化対策の一環として、不妊治療を受けられている夫婦に対して、不妊治療費用の一部を助成することにより経済的負担を軽減する。																																																								
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>医療保険適用の治療、人工授精を助成対象として、自己負担額の1/2以内で助成した。（1人あたり100千円/年度が上限、ただし保険適用のみの場合60千円/年度を上限）</p> <p>〈不妊治療助成金交付実績〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人員</td> <td>26人</td> <td>32人</td> <td>34人</td> <td>30人</td> <td>32人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>31件</td> <td>41件</td> <td>41件</td> <td>35件</td> <td>40件</td> <td>43件</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>492千円</td> <td>563千円</td> <td>704千円</td> <td>1,018千円</td> <td>1,197千円</td> <td>1,262千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成23年度から、上限額を30千円から100千円に拡充するとともに、治療の対象に人工授精を追加した。</p> <p>※人工授精に対する助成（上記の内数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人員</td> <td>7人</td> <td>14人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>7件</td> <td>16件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>91千円</td> <td>265千円</td> <td>487千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※不妊治療助成制度は、国の少子化対策の一環として市が制度化しているものであり、京都府においては、市町村への助成制度とは別に府の事業として、特定不妊治療助成事業を実施している。</p> <p>〈市民の特定不妊治療助成事業利用状況〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実人員</th> <th>件数</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>31人</td> <td>56件</td> <td>6,975千円</td> </tr> </tbody> </table>						H20	H21	H22	H23	H24	H25	実人員	26人	32人	34人	30人	32人	37人	件数	31件	41件	41件	35件	40件	43件	助成金額	492千円	563千円	704千円	1,018千円	1,197千円	1,262千円		H23年度	H24年度	H25年度	実人員	7人	14人	18人	件数	7件	16件	20件	助成金額	91千円	265千円	487千円		実人員	件数	助成額	H25	31人	56件	6,975千円
	H20	H21	H22	H23	H24	H25																																																			
実人員	26人	32人	34人	30人	32人	37人																																																			
件数	31件	41件	41件	35件	40件	43件																																																			
助成金額	492千円	563千円	704千円	1,018千円	1,197千円	1,262千円																																																			
	H23年度	H24年度	H25年度																																																						
実人員	7人	14人	18人																																																						
件数	7件	16件	20件																																																						
助成金額	91千円	265千円	487千円																																																						
	実人員	件数	助成額																																																						
H25	31人	56件	6,975千円																																																						
主な財源	府補 不妊治療給付事業助成費補助金（1/2）			631千円																																																					
評価・課題等	<p>○不妊治療を受ける夫婦について、不妊治療にかかる費用負担を軽減することができ、38.2%の方の妊娠及び出産につなげることができた。</p> <p>○今後も、引き続き制度の広報など積極的な周知を行う必要がある。</p>																																																								
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																																																								

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	02母子健康支援事業
細事業名	01 母子健康支援事業			決算書 P.172
総合計画	基本方針 III 健やか安心都市		計画項目 ① 市民主体の健康づくりの推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
10,934千円	10,957千円	23千円	99.7%	11,768千円

目的	妊娠中から出産、子育て期間を通じて、健診、各種教室を実施することで、保護者が自信を持って子育てができるように支援し、子どもの健やかな成長発達を促す。				
主要な事務・事業及び成果の概要	【乳幼児健康診査】	10,294 千円			
	発達の節目に乳幼児健康診査を実施し、疾病や障害の早期発見、治療、療育に結びつける機会とする。また、保健指導等で保護者への育児支援を行い、子どもへの虐待防止にもつなげる。				
	【乳幼児健康診査実績】 (単位：人、回、%)				
	対象	対象者数	実施回数	受診者数	受診率
	4か月児	362	22	360	99.4
	10か月児	397	26	391	98.5
	1歳8か月児	391	27	381	97.4
	2歳6か月児	398	24	386	97.0
	3歳児	408	28	399	97.8
	臨時保健師・歯科衛生士賃金	1,620 千円			
小児科医・歯科医師委託料	7,861 千円				
消耗品費、案内送料など	813 千円				
【むし歯予防事業】	425 千円				
乳幼児健康診査時のフッ素塗布 (79回) 保育所幼稚園歯科教室 (27回)					
歯科講演会 (3回) フッ化物洗口事業 (18保育所、2幼稚園、2小学校)					
歯科医師謝金 (講演会・学習会・会議等) 88 千円					
歯科衛生士謝金 (むし歯予防教室) 168 千円					
医薬材料費 (塗布用・洗口用薬剤) ほか 169 千円					
【母子等健康支援教室開催事業】	215 千円				
両親学級12回 (82組)、離乳食教室13回 (147人)、離乳食キッチン6回 (14人)					

主な財源	府補	フッ素による子どものむし歯予防事業費補助金 (1/2)	698千円
------	----	-----------------------------	-------

評価・課題等	○乳幼児健診や各種教室を実施することで、発達や育児面で気になる乳幼児の早期発見、早期支援を行い、子どもの健やかな成長発達を促すことができた。特に健診未受診者についての把握や支援に努め、健康状況の確認、虐待予防、孤立化予防及び育児支援などができた。 ○乳幼児期の子どものう歯保有率及び一人当たりのう歯本数は年々減少傾向にあり、保護者の意識を高め、子どものう歯を減らすことにつながった。今後も生涯を通じた健康な歯と口腔を保つため、食や歯磨き・フッ化物の利用など正しい知識の普及啓発に努めていく必要がある。
--------	---

事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課
-------	---------------

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	02母子健康支援事業
細事業名	02 妊婦健康支援事業			決算書 P.172
総合計画	基本方針 III 健やか安心都市		計画項目 ① 市民主体の健康づくりの推進	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
31,507千円	31,705千円	198千円	99.3%	30,058千円

目的	妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査を実施することにより、妊婦の健康づくりを支援し、疾病の早期発見、早期治療を促す。				
主要な事務・事業及び成果の概要	【妊婦健康診査】	31,306千円			
	妊婦健診は、平成21年度より公費負担を基本健診5回から、基本健診14回に拡充し、妊婦が安心して受診、出産できる環境を整備した。				
	○妊婦健康診査委託料	30,686千円			
	○妊婦健康診査助成金 (里帰り受診)	415千円			
	○印刷製本費 (受診券綴り)	80千円			
	○消耗品費 (母子健康手帳購入)	125千円			
	<実績> 妊婦健康診査受診券交付者数 421人				
	【妊婦歯科健康診査事業】	201千円			
	妊婦の口腔衛生の向上を図るために、1回の妊娠につき1回の歯科健康診査受診費用の一部助成を行った。				
	○妊婦歯科健康診査委託料	197千円			
○妊婦歯科健康診査助成金 (里帰り受診)	4千円				
<実績> 妊婦歯科健康診査受診者数 81人					

主な財源	
------	--

評価・課題等	○妊婦健康診査については、妊娠期に必要な定期検診を受診する機会となっており、妊婦が安心して妊娠出産に臨むために有効な事業となっている。 ○妊婦歯科健診については、さらに多くの妊婦に活用してもらえるように広報や周知方法の工夫が必要である。
--------	---

事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課
-------	---------------

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	03発達障害児等早期発見・早期療育支援事業
細事業名	01 発達障害児等早期発見・早期療育支援事業			決算書 P.172
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
355千円	431千円	76千円	82.3%	586千円

目的 発達障害等により集団生活が困難な幼児の早期発見及び早期療育の観点から、子ども、保護者、保育者が安心して就学を迎えることができるように、適切な支援体制を構築する。

主要な事務・事業及び成果の概要

○対象児：市内保育所・幼稚園に通う4歳児
(平成20年4月2日から21年4月1日生まれ) 実施人数 442人

○事業内容及び成果
保護者説明会を開催し、事業説明及び幼児期後半の子どもの発達と対応について健康教育を実施。問診票を配布し100%の回収率を得られた。一次スクリーニングと行動観察の結果により、事後支援として府発達相談・こどもクリニック、市すくすく子育て相談、保健師による個別相談を実施した。また、事後フォローとして保護者対象のほめ方教室を実施した。

問題なし	226人	51.1%
経過観察	173人	39.2%
要支援	20人	4.5%
管理中	23人	5.2%

要支援児の支援方法(重複あり)

発達相談(保健所)	15人
こどもクリニック(保健所)	3人
すくすく子育て相談(市相談員)	1人
巡回相談(支援センターよさのうみ)	1人
療育(療育施設の利用)	2人

※経過観察：個人の特性はあっても、ごく軽微であり経過観察でよいもの
※管理中：すでに医療機関・療育機関等でのフォローを受けており本事業からの介入が必要ないもの

○事業費 355千円
発達障害児等早期発見・早期療育支援相談員報酬(2人) 303千円
旅費(委員費用弁償) 27千円
需用費(発達検査用具・問診用色上質ほか) 25千円

主な財源 府補 発達障害児等早期発見・早期療育支援事業費補助金(1/2) 162千円

評価・課題等 ○支援の必要な幼児について、保護者、保育所・幼稚園職員及び専門機関と連携し、早期発見・早期支援・早期療育に結びつけることができた。
○各機関において継続した子育て支援ができるように、関係者及び関係機関の企画運営会議の充実を図る必要がある。
○事後フォローとしてほめ方教室を実施。参加者は少なかったが、親子関係の良い環境を促すことにつながった。

事業所管課 健康長寿福祉部/健康推進課

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	04未熟児療育医療事業
細事業名	01 未熟児療育医療事業			決算書 P.172
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	② 医療保険制度の一層の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
1,452千円	1,454千円	2千円	99.8%	2,162千円

目的 身体の発育が未熟なまま生まれた、入院が必要な新生児の医療費を公費で負担し、健やかな成長を支援する。

主要な事務・事業及び成果の概要

○未熟児養育医療給付費 1,451千円

対象者：出生時に体重が2,000g以下の乳児で、生活力が特に薄弱で一定の症状に該当する場合
給付額：指定医療機関で入院治療の一部負担金(食事療養費を含む)
給付方式：養育医療券(指定医療機関あり)交付による現物給付

<平成25年度>

申請人数	7人	現物給付額	
診療を要した日数	318日	医療費	1,245千円
食事回数	793回	食事負担額	206千円
		合計	1,451千円

○審査支払手数料 1千円
審査支払手数料は請求の段階で府と折半した額が請求される

主な財源 負担金 未熟児養育医療費負担金(保護者・子ども医療) 220千円
国負 未熟児養育医療費負担金(1/2) 541千円
府負 未熟児養育医療費負担金(1/4) 308千円

評価・課題等 保護者の経済的負担を軽減することで、新生児に安心して医療を受けさせることができ、母親の産後の快復や精神的不安の解消、育児への専念につなげることができた。

事業所管課 健康長寿福祉部/保険事業課

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04老人保健費	01健康相談・指導事業		
細事業名	01 健康相談・指導事業			決算書	P.172	
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
2,039千円	2,054千円	15千円	99.2%	2,305千円		
目的	生活習慣病をはじめとした疾病予防、介護予防などを目的に生活習慣を振り返り、早世予防、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民の健康増進や疾病予防を目的に、健康相談・保健指導・栄養指導事業を実施した。健康相談では、個別に具体的な生活改善指導を実施した。健康教育は、生活習慣病予防・心の健康・介護予防などの集団健康教育による普及啓発を実施した。</p> <p>【健康相談】</p> <p>○結果報告会（平成25年7月9日～11月26日、45日間） 延べ53会場 2,466人参加</p> <p>○栄養相談 142人実施</p> <p>【集団健康教育】</p> <p>○結果報告会集団健康教育 190回 2,679人参加</p> <p>○こころと体の健康づくり講演会 1回 99人参加</p> <p>「女性の健康力アップの秘訣」 講師：市立弥栄病院産婦人科 福田美佳 医師</p> <p>○出前講座 97回 1,802人参加</p> <p>○事業費 2,039千円</p> <p>賃金（臨時保健師・栄養士） 793千円 報償費（講師謝金） 28千円 需用費（消耗品費、修繕費、印刷製本費） 595千円 役務費（通信運搬費） 613千円 使用料（会場借上料） 10千円</p>					
主な財源	府補	健康増進事業費等補助金（2/3）				356千円
評価・課題等	<p>○多くの市民に健康情報を伝え、自分の健康について振り返り考えてもらう機会となっている。</p> <p>○講演会は、参加者が減少する傾向があったが、血管年齢測定や骨密度測定などの体験コーナーへの参加者は多く、今後も参加者増加につながる魅力ある内容等を検討する必要がある。</p> <p>○出前講座は依頼数が多く、希望団体や内容なども多岐にわたり、地域のニーズが高い事業であるが、通常業務との調整など一定の整理が必要である。</p>					
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04老人保健費	02総合検診事業																																																																
細事業名	01 総合検診事業			決算書	P.174																																																															
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進																																																																
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																																																																
93,217千円	93,314千円	97千円	99.8%	99,230千円																																																																
目的	がんや疾病の早期発見を行うとともに、生活習慣病予防のための健康意識を高め、生活習慣の改善につなげる。																																																																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>健康診査と各種がん検診などを同時に受けることができる総合検診として、地域の公民館等で実施した。</p> <p>○実施期間：平成25年5月21日～10月4日</p> <p>○実施日数及び会場数：49日間・27会場（保健センター及び公民館等）</p> <p>○検診業務委託料 90,707千円</p> <p>委託先：京都予防医学センター・京都府医師会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>検診内容</th> <th>対象者</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> <th>前年度比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">健康診査</td> <td>20～39歳</td> <td>935人</td> <td></td> <td>△18人</td> </tr> <tr> <td>75歳以上</td> <td>1,749人</td> <td></td> <td>74人</td> </tr> <tr> <td>生活保護・その他</td> <td>83人</td> <td></td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">がん検診</td> <td>肺がん</td> <td>40歳以上</td> <td>8,382人</td> <td>45%</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>40歳以上</td> <td>4,733人</td> <td>25.4%</td> <td>△270人</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>40歳以上</td> <td>7,844人</td> <td>42.1%</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス</td> <td>40歳以上</td> <td>810人</td> <td></td> <td>132人</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td>55歳以上</td> <td>2,335人</td> <td></td> <td>87人</td> </tr> <tr> <td>腹部超音波(※)</td> <td>60・65・70歳</td> <td>852人</td> <td></td> <td>△571人</td> </tr> <tr> <td>子宮がん(集団)</td> <td>20歳以上</td> <td>2,940人</td> <td rowspan="2">43.5%</td> <td rowspan="2">208人</td> </tr> <tr> <td>子宮がん(個別)</td> <td>20～40歳(5歳毎)</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>40歳以上</td> <td>2,886人</td> <td>47.2%</td> <td>87人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※腹部超音波の対象者は40～70歳（5歳毎）から、60・65・70歳に変更。</p> <p>○送迎車両運転委託 20千円</p> <p>○需用費（印刷製本、消耗品等） 697千円</p> <p>○役務費（通信運搬費） 1,768千円</p> <p>○会場使用料 25千円</p>						検診内容	対象者	受診者数	受診率	前年度比較	健康診査	20～39歳	935人		△18人	75歳以上	1,749人		74人	生活保護・その他	83人		13人	がん検診	肺がん	40歳以上	8,382人	45%	38人	胃がん	40歳以上	4,733人	25.4%	△270人	大腸がん	40歳以上	7,844人	42.1%	43人	肝炎ウイルス	40歳以上	810人		132人	前立腺がん	55歳以上	2,335人		87人	腹部超音波(※)	60・65・70歳	852人		△571人	子宮がん(集団)	20歳以上	2,940人	43.5%	208人	子宮がん(個別)	20～40歳(5歳毎)	38人	乳がん	40歳以上	2,886人	47.2%	87人
検診内容	対象者	受診者数	受診率	前年度比較																																																																
健康診査	20～39歳	935人		△18人																																																																
	75歳以上	1,749人		74人																																																																
	生活保護・その他	83人		13人																																																																
がん検診	肺がん	40歳以上	8,382人	45%	38人																																																															
	胃がん	40歳以上	4,733人	25.4%	△270人																																																															
	大腸がん	40歳以上	7,844人	42.1%	43人																																																															
	肝炎ウイルス	40歳以上	810人		132人																																																															
	前立腺がん	55歳以上	2,335人		87人																																																															
	腹部超音波(※)	60・65・70歳	852人		△571人																																																															
	子宮がん(集団)	20歳以上	2,940人	43.5%	208人																																																															
子宮がん(個別)	20～40歳(5歳毎)	38人																																																																		
乳がん	40歳以上	2,886人	47.2%	87人																																																																
主な財源	国補	感染症予防事業費等補助金（1/2）				1,626千円																																																														
	府補	健康増進事業費等補助金（基本額2/3）				873千円																																																														
	諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金（基本額2/3）				3,452千円																																																														
評価・課題等	<p>○前年度と比較し、健康診査では胃がん検診について受診者数が減少したものの、他の健診では増加した。</p> <p>○今後も継続して各種検診の受診率向上に向け、検討を行っていく必要がある。</p>																																																																			
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																																																																			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04老人保健費	03機能訓練事業		
細事業名	01 機能訓練事業			決算書	P.174	
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
130千円	227千円	97千円	57.2%	227千円		
目的	疾病、外傷、老化等により心身機能が低下している方に対し、心身機能の維持回復に必要な訓練を行うことで、日常生活の自立を助け、介護を要する状態になることを予防する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	機能維持を目的とした運動、絵画や工作などの手工芸、レクリエーションや交流などの活動を通じて訓練を行った。					
	<p>○実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京丹後リハビリの会 ※H25年度を持って終了 脳卒中などの疾病や外傷、その他の原因により心身機能の低下がある方を対象に閉じこもり、生活機能低下予防を目的とする。 実施回数：11回、参加実人数：22人、参加延人数：102人 ・あじさいの会（リウマチ交流会） リウマチ疾患の方を対象に、疾病の自己管理や生活機能低下予防のための知識普及を目的とする。 実施回数：6回、参加実人数：18人、参加延人数：56人 <p>※両教室において、65歳未満の実人数 3人/40人中（7.5%） ※65歳未満分の経費は一般会計で執行し、65歳以上分は介護保険特別会計で執行</p> <p>○事業費 130千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 賃金（介助員・臨時看護師） 29千円 報償費（歯科衛生士、運動講師、作業療法士など） 9千円 需用費（消耗品費、賄材料費、燃料費、修繕料） 37千円 役務費（通信運搬費、リフト車登録手数料・保険料ほか） 32千円 委託料（送迎委託料） 15千円 使用料（会場借上料） 1千円 公課費（リフト車重量税） 7千円 					
主な財源						
評価・課題等	○事業への参加により、社会参加や交流の場となっており、参加者はほとんどが心身機能の現状維持を図ることができた。 ○京丹後リハビリの会の対象者は、介護保険事業サービスの対象者と重なるなどの状況があり、サービス利用等の調整を行い、平成25年度を持って終了した。あじさいの会については、内容のマンネリ化・対象者の固定などの課題があるため、事業周知や運営方法について検討する必要がある。					
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	05予防費	01予防接種事業																																																	
細事業名	01 予防接種事業			決算書	P.174																																																
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進																																																	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																	
77,424千円	77,531千円	107千円	99.8%	101,920千円																																																	
目的	伝染の恐れがある疾病の発生及び感染予防、発病防止、症状の軽減、病気のまん延防止を図る。																																																				
主要な事務・事業及び成果の概要	予防接種法に基づき子どもの定期予防接種及び高齢者インフルエンザを実施した。また、風しん予防接種費用への助成を実施した。																																																				
	<p>〔予防接種の種類・接種者数等〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>対象延べ人数</th> <th>接種延べ人数</th> <th>接種率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BCG</td> <td>380</td> <td>316</td> <td>83.2</td> </tr> <tr> <td>ポリオ（不活化ワクチン）</td> <td>1,469</td> <td>1,030</td> <td>70.1</td> </tr> <tr> <td>二種混合</td> <td>598</td> <td>556</td> <td>93.0</td> </tr> <tr> <td>三種混合</td> <td>722</td> <td>391</td> <td>54.2</td> </tr> <tr> <td>四種混合</td> <td>1,399</td> <td>1,095</td> <td>78.3</td> </tr> <tr> <td>麻しん風しん（1期）</td> <td>510</td> <td>353</td> <td>69.2</td> </tr> <tr> <td>麻しん風しん（2期）</td> <td>456</td> <td>438</td> <td>96.1</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎</td> <td>4,403</td> <td>1,455</td> <td>33.0</td> </tr> <tr> <td>高齢者インフルエンザ 65歳以上</td> <td>18,909</td> <td>11,250</td> <td>59.5</td> </tr> <tr> <td>高齢者インフルエンザ 60～64歳（障害者）</td> <td>37</td> <td>16</td> <td>43.2</td> </tr> <tr> <td>風しん</td> <td>6,055</td> <td>138</td> <td>2.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>○医師派遣委託料 445 千円 ○臨時看護師賃金 23 千円 ○事務経費（旅費・消耗品・役務費等） 470 千円 ○ワクチン等医薬材料費（集団予防接種用） 248 千円 ○個別予防接種委託料 74,907 千円 ○予防接種助成金等給付費 1,331 千円 （内風しん予防接種助成金 791千円）</p>						区 分	対象延べ人数	接種延べ人数	接種率 (%)	BCG	380	316	83.2	ポリオ（不活化ワクチン）	1,469	1,030	70.1	二種混合	598	556	93.0	三種混合	722	391	54.2	四種混合	1,399	1,095	78.3	麻しん風しん（1期）	510	353	69.2	麻しん風しん（2期）	456	438	96.1	日本脳炎	4,403	1,455	33.0	高齢者インフルエンザ 65歳以上	18,909	11,250	59.5	高齢者インフルエンザ 60～64歳（障害者）	37	16	43.2	風しん	6,055	138
区 分	対象延べ人数	接種延べ人数	接種率 (%)																																																		
BCG	380	316	83.2																																																		
ポリオ（不活化ワクチン）	1,469	1,030	70.1																																																		
二種混合	598	556	93.0																																																		
三種混合	722	391	54.2																																																		
四種混合	1,399	1,095	78.3																																																		
麻しん風しん（1期）	510	353	69.2																																																		
麻しん風しん（2期）	456	438	96.1																																																		
日本脳炎	4,403	1,455	33.0																																																		
高齢者インフルエンザ 65歳以上	18,909	11,250	59.5																																																		
高齢者インフルエンザ 60～64歳（障害者）	37	16	43.2																																																		
風しん	6,055	138	2.3																																																		
主な財源	府補	風しんワクチン接種緊急対策事業費補助金				395千円																																															
評価・課題等	○予防接種法に基づく予防接種であり、さらなる接種率の向上のために情報提供、接種体制の充実に努める必要がある。 ○風しん予防接種助成金制度を新設したが、接種率は低率であったため、継続して広報など周知の充実に努める必要がある。																																																				
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課																																																				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	05予防費	01予防接種事業
細事業名	02 子宮頸がん等予防接種事業			決算書 P.174
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
34,297千円	34,485千円	188千円	99.4%	51,985千円

目的	子宮頸がん及び乳幼児の髄膜炎を予防する。												
主要な事務・事業及び成果の概要	子宮頸がん予防(HPV)ワクチン、ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用を全額助成する。 【接種対象者】												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者</th> <th>接種回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮頸がん予防ワクチン</td> <td>中学1年相当～高校1年相当</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>ヒブワクチン</td> <td>0歳児～4歳児</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>小児用肺炎球菌ワクチン</td> <td>0歳児～4歳児</td> <td>4回</td> </tr> </tbody> </table>		対象者	接種回数	子宮頸がん予防ワクチン	中学1年相当～高校1年相当	3回	ヒブワクチン	0歳児～4歳児	4回	小児用肺炎球菌ワクチン	0歳児～4歳児	4回
		対象者	接種回数										
	子宮頸がん予防ワクチン	中学1年相当～高校1年相当	3回										
	ヒブワクチン	0歳児～4歳児	4回										
	小児用肺炎球菌ワクチン	0歳児～4歳児	4回										
	【接種実績】 (単位:人)												
		延べ接種者数											
	子宮頸がん予防ワクチン	中学1年生※H25年度新規通知	198										
		中学2年生	33										
中学3年生		3											
高校1年生		2											
ヒブワクチン		1,660											
小児用肺炎球菌ワクチン		1,562											
	※平成25年6月に子宮頸がん予防接種について、積極的勧奨中止の勧告があった。												
	○需用費 消耗品費(予診用紙代) 12千円												
	○役務費 通信運搬費(郵送料) 22千円 手数料(審査支払手数料) 1千円												
	○委託料 予防接種委託料 34,262千円												
	※予防接種法の改正に伴い、平成25年4月1日より定期予防接種の対象となったが、子宮頸がん予防ワクチンについては、平成25年6月14日の厚生労働省勧告により積極的勧奨を差し控えている。(ワクチン接種後に特異的に見られた副反応による)												
主な財源													
評価・課題等	子宮頸がん予防ワクチンについては、積極的勧奨を差し控えている状況であり、今後も国の動向を注視する。												
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課												

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	01地域医療対策事業
細事業名	01 地域医療体制整備補助金			決算書 P.176
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	③ 患者本位の医療体制の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
24,922千円	24,987千円	65千円	99.7%	24,987千円

目的	民間病院・診療所が行った施設整備等に対して支援を行い、市民が安心して生活できる医療環境を確保する。															
主要な事務・事業及び成果の概要	地域医療を支える病院や医療提供の困難な地域にある診療所について、施設及び設備整備に係る借入金利子の一部等を対象経費として、補助金を交付した。															
	交付先医療機関及び交付額 (単位:千円)															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>法人・医療機関名</th> <th>所在地</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公益財団法人 丹後中央病院</td> <td>峰山町杉谷</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>特定医療法人三青園 丹後ふるさと病院</td> <td>網野町小浜</td> <td>4,922</td> </tr> <tr> <td>医療法人愛心会 宇川診療所</td> <td>丹後町久僧</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>24,922</td> </tr> </tbody> </table>	法人・医療機関名	所在地	交付額	公益財団法人 丹後中央病院	峰山町杉谷	10,000	特定医療法人三青園 丹後ふるさと病院	網野町小浜	4,922	医療法人愛心会 宇川診療所	丹後町久僧	10,000	合計		24,922
	法人・医療機関名	所在地	交付額													
	公益財団法人 丹後中央病院	峰山町杉谷	10,000													
	特定医療法人三青園 丹後ふるさと病院	網野町小浜	4,922													
	医療法人愛心会 宇川診療所	丹後町久僧	10,000													
	合計		24,922													
	主な財源	府補 未来づくり交付金(地域医療体制整備補助金) 6,000千円 市債 過疎地域自立促進特別事業債(過疎対策債) 10,000千円														
	評価・課題等	○地方の医療機関を取り巻く環境は依然厳しいながらも、対象となる民間医療機関のサービスは維持されており、地域の医療環境が確保されている。 ○引き続きの支援とともに、医療圏における医療体制確保のため、地域連携や国府等への要望等に努める必要がある。														
事業所管課	医療部/医療政策課															

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	01地域医療対策事業
細事業名	02 救急医療体制強化補助金			決算書 P.176
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	③ 患者本位の医療体制の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
3,000千円	3,000千円	0千円	100.0%	3,000千円

目的 民間の救急告示病院に対し、救急診療を実施する上で必要な経費の一部について補助を行い、市民が安心して生活できる救急診療体制を確保する。

主要な事務・事業及び成果の概要

救急告示病院において、救急医療を実施するうえで必要となる医師及び看護師の待機に係る費用を対象経費として補助金を交付した。

交付先医療機関及び交付額 (単位：千円)

法人・医療機関名	所在地	交付額
公益財団法人 丹後中央病院	峰山町杉谷	3,000

※対象経費：11,635千円（補助率1/3以内）

主な財源

評価・課題等

○市内救急医療は、市立2病院と民間1病院で支えている。現実、救急医療を市立2病院のみで支えることは、経費面、施設設備面及び人員面などから難しく、補助対象医療機関の貢献により救急医療体制を維持することができた。
○救急医療体制を確保するためには引き続き支援をする必要があるとともに、市立病院においては医師等の体制の確保が課題である。

事業所管課 医療部/医療政策課

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	01地域医療対策事業
細事業名	03 休日応急診療事業			決算書 P.176
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	③ 患者本位の医療体制の充実
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
3,675千円	3,675千円	0千円	100.0%	3,675千円

目的 休日における急病患者の診療業務について、市内の医療機関に委託し実施することにより、市民が安心して生活できる救急診療体制を確保する。

主要な事務・事業及び成果の概要

休日や年末年始における急病患者の診療業務について、医療機関に委託し実施した。

- 実施医療機関 丹後ふるさと病院、上田医院、中江医院、市立弥栄病院、市立久美浜病院
- 実施日数 71日（日曜、祝日、年末年始）
- 診療時間 午前9時から正午、午後2時から午後5時
- 延べ患者数 1,055人

(単位：千円)

業務内容	委託額
休日応急診療業務委託料	3,675

主な財源

評価・課題等

○休日・年末年始において応急的な診療を受けられる医療機関を確保することができた。
○休日診療所を開設している他の自治体もあるが、本市では、開設に係る費用面をはじめ、医師、看護師等の医療スタッフの確保が非常に難しい状況である。よって、業務委託で実施することが費用対効果の面でも有効であると考えているが、実施協力医療機関の確保が難しくなってきた。

事業所管課 医療部/医療政策課

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	02市立診療所繰出金																																																																																																	
細事業名	01 市立診療所繰出金			決算書	P.176																																																																																																
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	③ 患者本位の医療体制の充実																																																																																																	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																																																																	
58,000千円	58,000千円	0千円	100.0%	53,000千円																																																																																																	
目的	誰もが安心して医療を受けられる地域医療の維持・充実を図るため、市内に設置している診療所の運営に必要な経費を繰り出す。																																																																																																				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>診療所運営経費及び市債の元利償還金の一部を一般会計から繰り出し、国民健康保険直営診療所事業特別会計の適正な運営を行った。</p> <p>該当診療所及び繰出額 58,000 千円</p> <table border="1"> <tr> <td>京丹後市国保直営大宮診療所</td> <td>大宮町河辺</td> <td>4,431 千円</td> </tr> <tr> <td>京丹後市国保直営五十河診療所</td> <td>大宮町延利</td> <td>2,927 千円</td> </tr> <tr> <td>京丹後市国保直営間人診療所</td> <td>丹後町間人</td> <td>46,516 千円</td> </tr> <tr> <td>京丹後市国保直営野間診療所</td> <td>弥栄町野中</td> <td>1,500 千円</td> </tr> <tr> <td>京丹後市国保直営佐濃診療所</td> <td>久美浜町佐野</td> <td>2,626 千円</td> </tr> </table> <p>繰出金の内訳 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大宮診療所</th> <th>五十河診療所</th> <th>間人診療所</th> <th>野間診療所</th> <th>佐濃診療所</th> <th>合計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市債元利償還金</td> <td>2,631</td> <td></td> <td>11,840</td> <td></td> <td>2</td> <td>14,473</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>1,500</td> <td>927</td> <td></td> <td></td> <td>180</td> <td>2,607</td> <td>事務員 看護師</td> </tr> <tr> <td>児童手当</td> <td>300</td> <td></td> <td>140</td> <td></td> <td></td> <td>440</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給料</td> <td></td> <td></td> <td>28,078</td> <td></td> <td></td> <td>28,078</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療事務委託料</td> <td></td> <td></td> <td>5,513</td> <td></td> <td></td> <td>5,513</td> <td></td> </tr> <tr> <td>清掃業務委託料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>54</td> <td>54</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医師派遣費</td> <td></td> <td>2,000</td> <td></td> <td>1,500</td> <td>2,390</td> <td>5,890</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高度医療機器保守</td> <td></td> <td></td> <td>945</td> <td></td> <td></td> <td>945</td> <td>CT</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,431</td> <td>2,927</td> <td>46,516</td> <td>1,500</td> <td>2,626</td> <td>58,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						京丹後市国保直営大宮診療所	大宮町河辺	4,431 千円	京丹後市国保直営五十河診療所	大宮町延利	2,927 千円	京丹後市国保直営間人診療所	丹後町間人	46,516 千円	京丹後市国保直営野間診療所	弥栄町野中	1,500 千円	京丹後市国保直営佐濃診療所	久美浜町佐野	2,626 千円	項目	大宮診療所	五十河診療所	間人診療所	野間診療所	佐濃診療所	合計	備考	市債元利償還金	2,631		11,840		2	14,473		賃金	1,500	927			180	2,607	事務員 看護師	児童手当	300		140			440		給料			28,078			28,078		医療事務委託料			5,513			5,513		清掃業務委託料					54	54		医師派遣費		2,000		1,500	2,390	5,890		高度医療機器保守			945			945	CT	合計	4,431	2,927	46,516	1,500	2,626	58,000	
京丹後市国保直営大宮診療所	大宮町河辺	4,431 千円																																																																																																			
京丹後市国保直営五十河診療所	大宮町延利	2,927 千円																																																																																																			
京丹後市国保直営間人診療所	丹後町間人	46,516 千円																																																																																																			
京丹後市国保直営野間診療所	弥栄町野中	1,500 千円																																																																																																			
京丹後市国保直営佐濃診療所	久美浜町佐野	2,626 千円																																																																																																			
項目	大宮診療所	五十河診療所	間人診療所	野間診療所	佐濃診療所	合計	備考																																																																																														
市債元利償還金	2,631		11,840		2	14,473																																																																																															
賃金	1,500	927			180	2,607	事務員 看護師																																																																																														
児童手当	300		140			440																																																																																															
給料			28,078			28,078																																																																																															
医療事務委託料			5,513			5,513																																																																																															
清掃業務委託料					54	54																																																																																															
医師派遣費		2,000		1,500	2,390	5,890																																																																																															
高度医療機器保守			945			945	CT																																																																																														
合計	4,431	2,927	46,516	1,500	2,626	58,000																																																																																															
主な財源																																																																																																					
評価・課題等																																																																																																					
事業所管課	医療部/医療政策課																																																																																																				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	03市立病院繰出金																																																																																																											
細事業名	01 市立病院繰出金			決算書	P.176																																																																																																										
総合計画	基本方針 Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	③ 患者本位の医療体制の充実																																																																																																											
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																																																																											
830,600千円	830,600千円	0千円	100.0%	830,000千円																																																																																																											
目的	市立病院の運営を維持するため、必要な経費の一部を一般会計から病院事業会計に繰り出す。																																																																																																														
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地方公営企業法17条の2の規定による経費の負担の原則、「地方公営企業繰出金について」等に基づき算定した繰出基準額を基本とした、一般会計からの繰出金。</p> <p>繰出額 市立弥栄病院 413,116 千円 市立久美浜病院 417,484 千円 合計 830,600 千円</p> <p>繰出金の内訳 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>弥栄病院</th> <th>久美浜病院</th> <th>合計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急医療の確保</td> <td>161,749</td> <td>111,973</td> <td>273,722</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保健衛生行政</td> <td>35,680</td> <td>61,200</td> <td>96,880</td> <td></td> </tr> <tr> <td>研究研修費</td> <td>1,239</td> <td>1,320</td> <td>2,559</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医師確保対策</td> <td>9,100</td> <td>8,672</td> <td>17,772</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共済追加費用</td> <td>27,706</td> <td>22,131</td> <td>49,837</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎年金拠出金</td> <td>37,539</td> <td>31,148</td> <td>68,687</td> <td></td> </tr> <tr> <td>児童手当</td> <td>11,233</td> <td>7,321</td> <td>18,554</td> <td></td> </tr> <tr> <td>院内保育所の運営</td> <td>1,464</td> <td>1,957</td> <td>3,421</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公立病院改革プラン</td> <td>2,049</td> <td>939</td> <td>2,988</td> <td>特例債利息償還分</td> </tr> <tr> <td>過疎債償還利息</td> <td></td> <td>1,303</td> <td>1,303</td> <td>基準外</td> </tr> <tr> <td>建設改良(利息)</td> <td>14,252</td> <td>36,301</td> <td>50,553</td> <td>企業債償還分</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション医療</td> <td>0</td> <td>4,770</td> <td>4,770</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小児医療</td> <td>0</td> <td>5,027</td> <td>5,027</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高度医療</td> <td>5,580</td> <td>14,748</td> <td>20,328</td> <td></td> </tr> <tr> <td>へき地医療</td> <td>72</td> <td>5,196</td> <td>5,268</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設改良(元金)</td> <td>100,400</td> <td>100,488</td> <td>200,888</td> <td>企業債償還分</td> </tr> <tr> <td>建設改良費</td> <td>2,063</td> <td>0</td> <td>2,063</td> <td></td> </tr> <tr> <td>会計制度改正対応</td> <td>1,190</td> <td>1,190</td> <td>2,380</td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護師等修学資金</td> <td>1,800</td> <td>1,800</td> <td>3,600</td> <td>基準外</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>413,116</td> <td>417,484</td> <td>830,600</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							弥栄病院	久美浜病院	合計	備考	救急医療の確保	161,749	111,973	273,722		保健衛生行政	35,680	61,200	96,880		研究研修費	1,239	1,320	2,559		医師確保対策	9,100	8,672	17,772		共済追加費用	27,706	22,131	49,837		基礎年金拠出金	37,539	31,148	68,687		児童手当	11,233	7,321	18,554		院内保育所の運営	1,464	1,957	3,421		公立病院改革プラン	2,049	939	2,988	特例債利息償還分	過疎債償還利息		1,303	1,303	基準外	建設改良(利息)	14,252	36,301	50,553	企業債償還分	リハビリテーション医療	0	4,770	4,770		小児医療	0	5,027	5,027		高度医療	5,580	14,748	20,328		へき地医療	72	5,196	5,268		建設改良(元金)	100,400	100,488	200,888	企業債償還分	建設改良費	2,063	0	2,063		会計制度改正対応	1,190	1,190	2,380		看護師等修学資金	1,800	1,800	3,600	基準外	合計	413,116	417,484	830,600	
	弥栄病院	久美浜病院	合計	備考																																																																																																											
救急医療の確保	161,749	111,973	273,722																																																																																																												
保健衛生行政	35,680	61,200	96,880																																																																																																												
研究研修費	1,239	1,320	2,559																																																																																																												
医師確保対策	9,100	8,672	17,772																																																																																																												
共済追加費用	27,706	22,131	49,837																																																																																																												
基礎年金拠出金	37,539	31,148	68,687																																																																																																												
児童手当	11,233	7,321	18,554																																																																																																												
院内保育所の運営	1,464	1,957	3,421																																																																																																												
公立病院改革プラン	2,049	939	2,988	特例債利息償還分																																																																																																											
過疎債償還利息		1,303	1,303	基準外																																																																																																											
建設改良(利息)	14,252	36,301	50,553	企業債償還分																																																																																																											
リハビリテーション医療	0	4,770	4,770																																																																																																												
小児医療	0	5,027	5,027																																																																																																												
高度医療	5,580	14,748	20,328																																																																																																												
へき地医療	72	5,196	5,268																																																																																																												
建設改良(元金)	100,400	100,488	200,888	企業債償還分																																																																																																											
建設改良費	2,063	0	2,063																																																																																																												
会計制度改正対応	1,190	1,190	2,380																																																																																																												
看護師等修学資金	1,800	1,800	3,600	基準外																																																																																																											
合計	413,116	417,484	830,600																																																																																																												
主な財源																																																																																																															
評価・課題等																																																																																																															
事業所管課	医療部/医療政策課																																																																																																														

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	04医療確保奨学金等貸与事業	
細事業名	01 医療確保奨学金貸与事業			決算書	P.176
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	③ 患者本位の医療体制の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
15,000千円	15,000千円	0千円	100.0%	12,600千円	
目的	市立病院等の地域医療機関における医師の業務に従事しようとする意思を有する者に対して奨学金を貸与し、市の医療体制の充実に必要な医師の確保を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>将来、市立病院等の市内医療機関に医師として勤務する意思を有する研修医及び医学生に対し、奨学金を貸与した。</p> <p>○医療確保奨学金貸与事業 15,000 千円</p> <p>貸与者：6人 貸与期間：平成25年4月～平成26年3月 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般医師志望者（小児科、産婦人科以外）5人 月額200千円×12月×5人=12,000千円 小児科、産婦人科医師志望者 1人 月額250千円×12月×1人=3,000千円 				
主な財源					
評価・課題等	6人中5人は医学生への貸与であり、実際の医師体制の充実に年数を要するが、1人は研修医で次年度に入職している。				
事業所管課	医療部/医療政策課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	06医療対策費	50医療対策一般経費	
細事業名	01 医療対策一般経費			決算書	P.176
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	③ 患者本位の医療体制の充実	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
350千円	384千円	34千円	91.1%	917千円	
目的	地域医療の充実と市立病院・市国保直営診療所の運営、調整のための一般経費				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域医療の充実と市立病院及び市国保直営診療所の医療体制の拡充、経営改善等のために必要な業務を行い、所要の経費を支出した。</p> <p>○市立病院経営改善専門委員設置経費 147 千円 (年間勤務24日、委員1人) 報酬(9,000円/1日、6,000円/半日)</p> <p>○その他の経費 203 千円 医療確保を目的として、京都府立医科大学等の大学関係者や医療関係者を訪問するための職員の出張経費等</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員出張のための普通旅費 116 千円 消耗品費(書籍、事務用品等) 46 千円 燃料費(公用車燃料代) 10 千円 有料道路通行料 31 千円 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○市立病院経営改善専門委員からは、経営に対する助言や薬剤調達に関するコスト削減などの指導を受け、経営改善の一助となった。</p> <p>○引き続き医師の招へいに向けた情報収集や要望活動を展開し、さらなる医療提供体制の充実に努める必要がある。</p>				
事業所管課	医療部/医療政策課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	01防疫対策事業	
細事業名	01 防疫対策事業			決算書	P.176
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
144千円	190千円	46千円	75.7%	190千円	
目的	京丹後市地域防災計画の災害応急対策計画に基づき、防疫対策を実施することにより、疫病の未然防止等を図る。また、安全な害虫駆除のため備える。				
主要な事務・事業及び成果の概要	害虫駆除として、ハチ駆除用防護服の貸出しを行った。ハチの防護服については、古くなっているものから順次更新しており、また汚れのひどいものはクリーニングを行い、貸し出しに備えた。				
	○需用費				9千円
	・消耗品費				6千円
	・燃料費				3千円
○役務費				9千円	
・手数料(ハチ防護服クリーニング)					
○備品購入費				126千円	
・ハチ駆除用防護服1着(峰山市民局配置)					
主な財源					
評価・課題等	○各市民局にハチ防護服を備えて市民に貸出し、安全な害虫駆除の支援に役立てることができた。 ○ハチ防護服の摩耗や経年劣化による老朽化が進んでおり、今後も計画的に更新していく必要がある。				
事業所管課	市民部/市民課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	02浄化槽設置整備事業	
細事業名	01 浄化槽設置整備事業			決算書	P.178
総合計画	基本方針 VI うるおい安全都市		計画項目	⑥ 上下水道の整備	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
6,423千円	6,434千円	11千円	99.8%	5,649千円	
目的	個人が設置する浄化槽設置整備事業に対して補助金を交付し、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○浄化槽設置整備事業費補助金 6,309千円				
	浄化槽設置整備事業費補助金 (単位:千円)				
		人槽	設置数	1基あたり補助額	補助総額
		5人槽	1基	352	352
	7人槽	8基	441	3,528	
	72人槽	1基	2,429	2,429	
	計	10基		6,309	
	○京都府浄化槽推進協議会会費及び負担金				91千円
	○京都府浄化槽推進協議会総会への出席にかかる普通旅費				23千円
主な財源	国補	循環型社会形成推進交付金(1/3)			255千円
	府補	浄化槽設置整備事業費補助金(1/3)			1,293千円
評価・課題等	○集合処理施設が未整備な区域において、個人が設置する浄化槽設置整備事業に対して補助金を交付したことで、公共用水域の水質保全と生活環境の改善が図れた。 ○公共用水域の水質保全と生活環境の一層の改善のためには、集合処理施設の整備区域となるまでの間、個人の浄化槽設置による水洗化を推進する必要がある。				
事業所管課	上下水道部/下水道整備課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	03環境美化保全対策事業				
細事業名	01 環境保全活動事業			決算書	P.178			
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額				
850千円	850千円	0千円	100.0%	938千円				
目的	市民や事業者及び市が一体となった美しいふるさとづくり活動を支援し、市域の豊かな自然環境保全や環境美化活動を推進する。							
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 美しいふるさとづくり条例環境保護団体活動補助金 130千円 条例に基づき、特別保護区域である琴引浜において環境保護団体が実施するパトロール活動（海水浴シーズンの土日祝日、2人1組で午前・午後の2回/日）を支援した。 はだしのコンサート2013補助金 720千円 鳴き砂の浜の保全活動について、その必要性を理解していただく契機としてコンサートを開催しており、「拾った海岸ゴミが入場券」というユニークな形態をとっている。平成25年度で20周年となり、長期にわたり地域主体での取組となっている。この自然環境保全についてのメッセージと本市の魅力を市の内外に発信するイベントに対して支援した。 <p>実施日：平成25年6月1日（土）～2日（日） 参加者：約4,500人</p>							
主な財源								
評価・課題等	<p>○豊かな自然環境のもとで存在する「鳴り砂の浜」において、地域が主体的に行う環境保全意識啓発のイベントを支援することで参加者への意識啓発、並びに市の内外へ自然豊かな市の魅力と環境保全の大切さを広くアピールすることができた。</p> <p>○条例に基づき、環境保護団体に対し支援を行うことで、豊かな自然環境を保全することができたものの、次代を担うスタッフの確保・養成が課題である。</p>							
事業所管課	農林水産環境部/環境バイオマス推進課							

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	03環境美化保全対策事業				
細事業名	02 不法投棄対策事業			決算書	P.178			
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額				
163千円	242千円	79千円	67.3%	344千円				
目的	不法投棄の防止対策のため、不法投棄抑止のネット、看板等の設置により抑止啓発に努めるとともに、不法投棄された廃棄物の撤去回収を実施し、良好な環境を保全する。							
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>不法投棄防止啓発を目的に、防止ネット及び啓発看板を設置するとともに、不法投棄されたものについて行為者の特定及び撤去を実施し、特定できたケースについては警察へ移送した。（市民部の回収件数56件）</p> <p>また、不法投棄の多い箇所については、京都府と共同で「不法投棄防止ネット」の設置と小学生の「防止啓発標語」の掲示を行った。（網野町：市道俵野平田線(フルーツライン)）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 65千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（不法投棄防止看板13枚） ○役務費 98千円 <ul style="list-style-type: none"> ・手数料（タイヤ189本・消火器処分費） 							
主な財源								
評価・課題等	<p>○看板設置により不法投棄防止啓発を図ることができ、また不法投棄物の回収により地域の環境保全に努めることができた。</p> <p>○地域の区民による情報提供で「監視力」が高められる取り組みを今後行っていく必要がある。</p> <p>○「ごみ排出者の責任について」及び「山林等への不法投棄は違法行為である」ことの啓発を定期的に行うとともに、行為者の特定に努め、再発防止を図る必要がある。</p>							
事業所管課	市民部/市民課							

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	04狂犬病予防・動物管理事業
細事業名	01 狂犬病予防・動物管理事業			決算書 P.178
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
637千円	685千円	48千円	92.9%	685千円
目的	狂犬病予防法第5条第1項の規定により、狂犬病予防注射を実施し、狂犬病の発生を予防する。ペットの適正飼育や、動物管理マナーの啓発を行い、動物管理マナーの向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	市内50会場で狂犬病予防の巡回予防接種を実施するとともに、狂犬病予防注射未実施の飼い主へ予防注射実施の催促を行った。(飼い主756人、785頭) ペットの放し飼いやフンの始末など動物管理に対する苦情に対して、京都府と連携して飼い主へ個別に対応し、啓発を行った。 京都府と連携し、動物愛護教室を行い、動物との共生についての学習を行った。(郷小学校、吉野小学校、網野北小学校、間人小学校、網野みなみ保育所)			
	○旅費	10千円		
	・職員出張旅費			
	○需用費	89千円		
	・消耗品費(犬鑑札210枚、予防注射済票2,350枚等)	57千円		
	・印刷製本費(通知文送付用封筒3,200枚)	32千円		
	○役務費	195千円		
	・通信運搬費(予防注射実施案内及び再通知郵送料)			
	○委託料	343千円		
	・狂犬病予防注射済票引渡事務委託料			
犬の登録件数及び狂犬病予防注射実施件数				
犬の登録数		2,534頭		
狂犬病予防注射接種件数		1,954頭		
内訳	市実施件数		827頭	
	獣医委託件数		1,116頭	
	その他(市外)		11頭	
狂犬病予防注射受診率 H25 77.1%、 H24 77.7%、 H23 73.8%				
主な財源	手数料	犬の登録注射業務手数料	498千円	
	府補	動物管理指導費補助金	139千円	
評価・課題等	○予防注射未実施犬の飼い主への啓発文書を送付することで、死亡した犬の情報把握と、登録原簿の整理を行うことができ、事務の効率化を図ることができた。 ○予防注射実施の通知や広報、未届転出者の把握、登録抹消を進めることにより、犬の登録・狂犬病予防注射の受診率の向上を図るとともに、正しい飼養方法の普及や飼い主の自主的な動物管理マナーの向上も図っていく必要がある。			
	事業所管課	市民部/市民課		

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	05堀川浄化施設維持管理事業	
細事業名	01 堀川浄化施設維持管理事業			決算書 P.178	
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
1,723千円	1,724千円	1千円	99.9%	1,622千円	
目的	堀川浄化施設の維持管理を行うことにより、久美浜町一区内約65世帯の生活雑排水が流れ込む「堀川(法定外河川)」の環境保全を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	「堀川浄化施設」の維持管理として、施設の保守点検、消毒剤の充填、水路の清掃、水質検査及び汚泥の処理等を行った。				
	【堀川浄化施設】 久美浜町一区地内の堀川河口部から、上流部約180mの範囲における約65世帯の生活雑排水を浄化処理し、久美浜湾へ放流する施設。(平成6年設置) (200人槽、長期ばっ気式、処理能力：40m ³ /日、用途：雑排水下水道)				
	○需用費	660千円			
	・光熱水費(堀川浄化施設の電気・水道料金)	555千円			
	・修繕料(照明器具の取替、街路灯の撤去等)	105千円			
	○委託料	1,063千円			
	・堀川浄化施設保守管理委託料	(施設保守点検、消毒剤充填、水路清掃、水質検査、汚泥処分等)			
	主な財源				
	評価・課題等	○久美浜湾に直接流入していた家庭雑排水を処理することができ、久美浜湾の環境保全を図ることができた。 ○公共下水道への接続促進と並行して、老朽化しつつある本施設の適切な維持管理を行っていく必要がある。			
		事業所管課	市民部/市民課		

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	07環境保全意識啓発事業		
細事業名	01 環境保全意識啓発事業			決算書	P.178	
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額		
40千円	40千円	0千円	100.0%	104千円		

目的	市の豊かな自然に触れる機会を提供し、自然環境保全意識の啓発・向上を図る。	
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○ブナ林観察会 36千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新緑の内山ブナ林観察会 開催日：平成25年5月12日(日) 参加者：22人 講師(ブナ林案内人)：3人 補助員：2人 ・紅葉の内山ブナ林観察会 開催日：平成25年11月10日(日) 参加者：23人 講師(ブナ林案内人)：3人 補助員：2人 <p>○子ども体験活動講師謝金 4千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師謝金 @4,000円×1人×1回(7月26日分) ・活動内容：水生生物調査(小学生対象)の実施 平成25年7月26日(金) 峰山町鱒留川(31人) 平成25年7月31日(水) 峰山町鱒留川(40人) 平成25年8月10日(土) 峰山町鱒留川(34人) ※府職員出前・語らい講座活用 	
主な財源		
評価・課題等	<p>○水生生物調査については、児童を対象に水生生物調査や水質検査を行うことにより、自然環境保全への意識向上、啓発を行うことができた。また、京都府丹後保健所や市教委との連携により、経費節減などが図れた。</p> <p>○ブナ林観察会について、市の木であるブナの原生林の魅力と環境保全の意義を伝えることができた一方で、個別に観察される方もあり、事業への参加者は減少傾向にある。開催時期や情報発信方法など、より効果的な環境学習機会の提供、意識啓発事業の実施に向け検討が必要である。</p>	
事業所管課	農林水産環境部/環境バイオマス推進課	

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	09浄化槽整備事業特別会計繰出金		
細事業名	01 浄化槽整備事業特別会計繰出金			決算書	P.178	
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	⑥ 上下水道の整備	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額		
44,000千円	44,000千円	0千円	100.0%	44,000千円		

目的	総務省から示される下水道事業に対する繰出基準を参考に、浄化槽整備事業特別会計へ繰出金を支出することにより、同会計の経営の健全化を促進し経営基盤の強化を図る。																																					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>一般会計から浄化槽整備事業特別会計に対して繰出金を支出した。</p> <p>[繰出金の主な内容] (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>浄化槽</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>起債元金償還金</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>起債利子償還金</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分流式下水道等経費</td> <td>3,579</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高資本対策経費</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>児童手当</td> <td>336</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>3,915</td> <td></td> </tr> <tr> <td>起債元金償還金</td> <td>807</td> <td>下水道事業債(一般分)他</td> </tr> <tr> <td>施設維持管理費</td> <td>38,160</td> <td>浄化槽維持管理基数1,023基</td> </tr> <tr> <td>建設改良費</td> <td>1,118</td> <td>浄化槽設置工事他</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>40,085</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>44,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	浄化槽	備考	起債元金償還金	0		起債利子償還金	0		分流式下水道等経費	3,579		高資本対策経費	0		児童手当	336		小計	3,915		起債元金償還金	807	下水道事業債(一般分)他	施設維持管理費	38,160	浄化槽維持管理基数1,023基	建設改良費	1,118	浄化槽設置工事他	小計	40,085		合計	44,000	
項目	浄化槽	備考																																				
起債元金償還金	0																																					
起債利子償還金	0																																					
分流式下水道等経費	3,579																																					
高資本対策経費	0																																					
児童手当	336																																					
小計	3,915																																					
起債元金償還金	807	下水道事業債(一般分)他																																				
施設維持管理費	38,160	浄化槽維持管理基数1,023基																																				
建設改良費	1,118	浄化槽設置工事他																																				
小計	40,085																																					
合計	44,000																																					
主な財源																																						
評価・課題等																																						
事業所管課	上下水道部/下水道整備課																																					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	11地球温暖化防止対策推進事業
細事業名	02 省エネ・グリーン化推進事業			決算書 P.178
総合計画	基本方針 II 環境循環都市	計画項目 ① 自然環境の保全と創造		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
430千円	430千円	0千円	100.0%	0千円
目的	リース方式によりLED化した市管理分の防犯灯・道路灯を維持管理し、温室効果ガスの排出抑制と市の歳出削減を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成24年度からの繰越事業として実施したLED街路灯等導入調査（市管理分の街路灯等の現状把握調査及びLED導入計画の策定）の結果に基づきLED化した防犯灯・道路灯のリース料を支払った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リース料金内訳 LED取替工事及び施工監理／電力使用変更手続き／10年間のリース契約期間内における維持管理を含めた包括的サービスの提供 ・防犯灯：1,697基 道路灯：147基 計：1,844基 ・リース開始：平成26年3月1日 ・リース期間：120か月（10年間） ・リース料：429,450円/月 <p>①年間消費電力削減見込量 防犯灯 124,610kWh 道路灯 112,336kWh</p> <p>②年間温室効果ガス削減見込量 防犯灯 64.05 t-CO2 道路灯 57.74 t-CO2</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○環境省の補助事業の活用及び電気料金削減相当額を財源とするリース方式の採用により、多額の費用を要することなくエネルギー消費の少ない高効率機器の導入ができた。また広く市民の目に触れる防犯灯・道路灯を消費電力の少ないLEDへ切り替えたことにより、温室効果ガスの排出を抑制するとともに、市民・事業者への省エネ機器普及へのPRができた。</p> <p>○温室効果ガスの排出抑制に向け、歳出削減とのバランスを図りながら、公共施設の設備・機器に温室効果ガスの削減効果の高い機器等の導入を促進する必要がある。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	11地球温暖化防止対策推進事業
細事業名	02 省エネ・グリーン化推進事業（繰越）			決算書 P.178
総合計画	基本方針 II 環境循環都市	計画項目 ① 自然環境の保全と創造		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 繰越予算額
3,431千円	4,280千円	849千円	80.1%	4,280千円
目的	市が管理する街路灯等のLED化に向けた現状把握調査と導入計画の策定を行い、多額の初期費用をかけずに、温室効果ガスの排出抑制（低炭素社会の実現）を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成24年度に国の補正予算に計上された環境省の「地球温暖化対策推進事業費補助金」の採択を受け、市管理分の街路灯等の現状把握調査及びLED導入計画の策定業務を行ったもの。</p> <p>なお、国庫補助金の採択にあたり、5,000灯以上の更新という採択要件を満たすため、宮津市と共同提案を行い採択を受けたものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED街路灯等導入調査業務委託料 3,431千円 ■業務内容 <ul style="list-style-type: none"> ①街路灯等（市が管理する防犯灯、道路灯、公園灯）の現状把握（数量、電力使用量、維持管理費、温室効果ガスの排出量算出など） ②LED照明の導入数量、導入コストの算出等、LED街路灯等導入計画の策定に必要な分析業務 ③維持管理も含め、契約期間を10年としたリース方式によるLED街路灯等導入計画の策定業務 			
主な財源	国補	地球温暖化対策推進事業費補助金（10/10）		3,430千円
評価・課題等	環境省の補助事業を活用し、市管理分の防犯灯・道路灯のLED化に向けた調査並びに導入計画を作成することができた。			
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	12IJI福祉センター管理運営事業																																	
細事業名	01 IJI福祉センター管理運営事業			決算書 P.180																																	
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	④ 循環型社会の構築																																	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																																	
20,626千円	20,627千円	1千円	99.9%	20,103千円																																	
目的	エコエネルギーセンターを生ごみ再資源化や環境保全型農業の推進など、「環境循環都市」の実現に向けた中核施設として活用するため、施設の維持・管理を行う。																																				
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○修繕費 2,504千円 平成25年7月に発生した落雷により故障したトラックスケールの修繕 ○火災保険料 103千円 ○落雷証明書発行手数料 19千円 ○指定管理料 18,000千円 																																				
	<p style="text-align: center;">≪施設運営状況≫</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H25</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">見学者数(人)</td> <td style="text-align: center;">市内</td> <td style="text-align: center;">114</td> <td style="text-align: center;">187</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市外</td> <td style="text-align: center;">349</td> <td style="text-align: center;">329</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">国外</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">469</td> <td style="text-align: center;">518</td> </tr> <tr> <td colspan="2">原料受入量(t)</td> <td style="text-align: center;">2,375</td> <td style="text-align: center;">3,911</td> </tr> <tr> <td colspan="2">発電量(kWh)</td> <td style="text-align: center;">464,282</td> <td style="text-align: center;">494,200</td> </tr> <tr> <td colspan="2">売電量(kWh)</td> <td style="text-align: center;">357,041</td> <td style="text-align: center;">174,558</td> </tr> <tr> <td colspan="2">液肥利用量(t)</td> <td style="text-align: center;">3,729</td> <td style="text-align: center;">3,858</td> </tr> </tbody> </table>						H25	H24	見学者数(人)	市内	114	187	市外	349	329	国外	6	2	計	469	518	原料受入量(t)		2,375	3,911	発電量(kWh)		464,282	494,200	売電量(kWh)		357,041	174,558	液肥利用量(t)		3,729	3,858
			H25	H24																																	
	見学者数(人)	市内	114	187																																	
		市外	349	329																																	
		国外	6	2																																	
		計	469	518																																	
	原料受入量(t)		2,375	3,911																																	
	発電量(kWh)		464,282	494,200																																	
	売電量(kWh)		357,041	174,558																																	
液肥利用量(t)		3,729	3,858																																		
主な財源																																					
<p>○施設の適切な管理運営によるコスト削減に留意しつつ、生ごみの再資源化、バイオマス発電を実施し、温室効果ガスの削減に寄与するとともに、再資源化による液肥の農業利用により資源循環・環境保全型農業を推進することができた。平成25年3月には再生可能エネルギーの固定価格買取制度の認定を受けたことにより、売電収入も増加し、より効率的な施設運営に繋がった。</p> <p>○より効率的な施設運営と資源循環型農業の推進に努めるため、さらなる液肥の利用推進を図る必要がある。</p>																																					
事業所管課	農林水産環境部/環境バイオマス推進課																																				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	14水洗化推進支援事業		
細事業名	01 水洗化推進支援事業			決算書 P.180		
総合計画	基本方針 VI うるおい安全都市		計画項目	⑥ 上下水道の整備		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
22,481千円	22,481千円	0千円	100.0%	29,500千円		
目的	既存住宅において新規排水設備工事を行った者に対して補助金を交付することにより、既存住宅の水洗化の促進及び地域経済の活性化を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>公共下水道事業、集落排水事業及び市設置型浄化槽整備事業の区域内の既存住宅において市内指定業者を利用して新規排水設備工事を行った者に対して、その工事費用の一部を補助した。</p>					
	(単位：件)					
		平成25年度 補助金交付実績				
				浄化槽	合計	
		公共下水道	集落排水			
		公共	特環	農排	漁排	
	峰山	59			12	71
	大宮		30		2	32
	網野	38	10		4	52
	丹後		11		6	17
弥栄			7		7	
久美浜		36	24	27	87	
合計	97	87	31	0	51	266
		交付件数	補助金額	補助総額		
平成22年度以前分		2件	× 30千円	= 60千円		
平成23年度以降分						
一般世帯等		202件	× 50千円	= 10,100千円		
高齢者世帯		61件	× 200千円	= 12,200千円		
上限額以内の工事(高齢者)		1件	× 121千円	= 121千円		
合計		266件		22,481千円		
主な財源	府補 未来づくり交付金(水洗化推進支援事業)			10,000千円		
評価・課題等	<p>○平成25年度の補助金交付件数は266件であったが、補助対象に該当する接続工事は前年度より36件増え301件となっており、補助制度は一定の効果があつた。</p> <p>○下水道等への新規接続工事には、高額の費用が掛かり、接続推進のアンケートにおいても、補助制度の充実・拡大等の要望が多く寄せられており、平成25年度から制度の拡充を図った。今後も制度の周知を行い接続率の向上に向けて努めていく必要がある。</p>					
事業所管課	上下水道部/普及推進・料金課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	15環境基本計画推進事業
細事業名	01 環境基本計画推進事業			決算書 P.180
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
186千円	186千円	0千円	100.0%	349千円
目的	環境基本計画を推進するための市環境基本計画推進委員会を設置し、市民・事業者・市民団体・旅行者等への環境保全意識等の普及・啓発を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	環境基本計画に基づく施策の推進及び進捗状況の点検を行うため、環境基本計画推進委員会を開催し、市民・事業者・市民団体・旅行者・行政の取組の連携や促進に関して協議を行った。			
	<ul style="list-style-type: none"> ○環境基本計画推進委員会開催経費 102千円 <ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画推進委員謝金（開催2回） 委員：16人 <ul style="list-style-type: none"> 第2回（5/23） 12人×4,000円 48千円 第3回（11/22） 10人×4,000円 40千円 ・委員費用弁償 14千円 ○環境学習推進業務委託料 84千円 <ul style="list-style-type: none"> 地域における環境学習を開催する業務をNPO法人エコネット丹後に委託した。 開催回数 10回 参加者数 159人 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○計画期間の当初5年を期間とし、基本施策の中でも、総合的かつ横断的な推進が必要なものを重点プロジェクトに位置付けた。その一環として、環境学習の開催やウルトラマラソン大会前日に、河川の上流から下流まで流域全体で環境について考える契機とする「第2回水をつなぐクリーン大作戦」などを実施し、環境保全意識等の普及・啓発を推進することができた。</p> <p>○平成25年度で重点プロジェクトの実施期間は終了するが、実施が十分でなかった項目もあることから、今後も委員会を中心にプロジェクトの在り方や継続的な取組方法を検討する。</p>			
事業所管課	農林水産環境部/環境バイオマス推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	16海岸漂着物回収処理事業																		
細事業名	01 海岸漂着物回収処理事業			決算書 P.180																		
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策																		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																		
19,570千円	19,652千円	82千円	99.5%	0千円																		
目的	海岸漂着物等の回収・処理事業を実施することにより、海岸漂着物対策を推進し、海岸の良好な景観及び環境の保全を図る。																					
主要な事務・事業及び成果の概要	京都府の補助事業を活用し、地元区等に海岸清掃を委託し海岸の清潔の保持と良好な景観の維持を行うとともに、回収した海岸漂着物を市外で処理することで最終処分場への埋立量の抑制を図った。また、台風等の災害により漂着した大量の海岸漂着物を国の補助事業を活用して処理を行った。海岸漂着物対策会議設置規定を策定し、庁舎内での役割分担を明確化した。																					
	<ul style="list-style-type: none"> ○旅費 3千円 <ul style="list-style-type: none"> ・職員出張旅費 ○役務費 4,370千円 <ul style="list-style-type: none"> ・手数料（海岸漂着物処理手数料、廃棄物受入承認手数料等） ○委託料 15,197千円 <ul style="list-style-type: none"> ・海岸漂着物回収処理委託料（市管理10海岸分） 7,806千円 ・海岸漂着物回収処理委託料（府管理11海岸分） 7,391千円 <p>【実施海岸（補助対象分）】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>久美浜</td> <td>箱石湊宮葛野海岸</td> <td rowspan="2">スポーツ観光・交流課</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>浅茂川海岸、琴引浜(掛津、遊)、浜詰海岸、小浜海岸</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">丹後</td> <td>砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸、上野平海岸（上野区、平区）</td> <td rowspan="2">管理課</td> </tr> <tr> <td>上向海岸、下向海岸、岩田海岸、尾和海岸</td> </tr> </table> <p>【実施海岸（災害対応分）】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>網野</td> <td>浅茂川漁港、磯漁港、浜詰漁港</td> <td>海業水産課</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">丹後</td> <td>小間漁港</td> <td rowspan="2">管理課</td> </tr> <tr> <td>此代海岸</td> </tr> </table> <p>【実施海岸（市単独分）】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>丹後</td> <td>竹野大成海岸、筆石海岸</td> <td>管理課</td> </tr> </table>				久美浜	箱石湊宮葛野海岸	スポーツ観光・交流課	網野	浅茂川海岸、琴引浜(掛津、遊)、浜詰海岸、小浜海岸	丹後	砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸、上野平海岸（上野区、平区）	管理課	上向海岸、下向海岸、岩田海岸、尾和海岸	網野	浅茂川漁港、磯漁港、浜詰漁港	海業水産課	丹後	小間漁港	管理課	此代海岸	丹後	竹野大成海岸、筆石海岸
久美浜	箱石湊宮葛野海岸	スポーツ観光・交流課																				
網野	浅茂川海岸、琴引浜(掛津、遊)、浜詰海岸、小浜海岸																					
丹後	砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸、上野平海岸（上野区、平区）	管理課																				
	上向海岸、下向海岸、岩田海岸、尾和海岸																					
網野	浅茂川漁港、磯漁港、浜詰漁港	海業水産課																				
丹後	小間漁港	管理課																				
	此代海岸																					
丹後	竹野大成海岸、筆石海岸	管理課																				
主な財源	国補 災害廃棄物処理事業補助金（5/10） 1,042千円 府補 海岸漂着物地域対策推進事業補助金（10/10） 12,746千円																					
評価・課題等	<p>○市内の21海岸で海岸清掃を行い、景観保護と環境保全を行うことができた。</p> <p>○補助金の継続を、国や府に対して強く求めている必要がある。</p>																					
事業所管課	市民部/市民課																					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	16海岸漂着物回収処理事業		
細事業名	02 海岸漂着物発生抑制事業			決算書	P.180	
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額		
551千円	553千円	2千円	99.6%	0千円		
目的	漂着ごみの発生抑制事業を実施することにより、海岸漂着物対策を推進し、海岸における良好な景観及び環境の保全を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>水をつなぐクリーン大作戦を通して、海岸漂着物の問題を海岸域だけの問題とせず、河川の上流、中流、下流域の人々が流域を超えて一体感を持ち「森林・河川・海」を維持、再生することで、海岸漂着物に関する意識を高め、その発生抑制に資することを目的として、平成25年9月に竹野川・福田川流域等市内全域の河川において一斉清掃活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 2千円 <ul style="list-style-type: none"> 職員出張旅費 ○需用費 483千円 <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費（のぼり旗、看板作成） 241千円 印刷製本費（チラシ、マグネットステッカー作成） 242千円 ○役務費 65千円 <ul style="list-style-type: none"> 手数料（新聞折込手数料） ○使用料及び賃借料 1千円 <ul style="list-style-type: none"> 有料道路使用料 					
主な財源	府補 海岸漂着物地域対策推進事業補助金（10/10）			551千円		
評価・課題等	<p>○海岸漂着物の問題を海岸域だけの問題でなく、市全体の問題として一体感を持って発生抑制に資することができた。</p> <p>○発生抑制に向けた意識啓発は、一過性のものでなく今後も継続していく必要がある。</p>					
事業所管課	市民部/市民課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	18資源循環推進事業		
細事業名	01 資源循環推進事業			決算書	P.180	
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	④ 循環型社会の構築	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額		
527千円	528千円	1千円	99.8%	616千円		
目的	持続可能な循環型社会を目指すため、市エコエネルギーセンターを活用し、市内の家庭から排出される生ごみの資源化を推進する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>生ごみの資源化による循環型社会環境の整備を促進するため、生ごみ資源化・ゼロエミッション推進検討委員会を開催し、生ごみ資源化へ向けた具体的方策等に関して協議を行った。また、生ごみの資源化実証として分別・収集をモデル的に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生ごみ資源化・ゼロエミッション推進検討委員会開催経費 188千円 <ul style="list-style-type: none"> ・委員謝金（開催5回） 委員：10人 <ul style="list-style-type: none"> 第1回（7/29） 9人×4,000円 36千円 第2回（10/29） 8人×4,000円 32千円 施設見学（11/19） 9人×4,000円 36千円 第3回（11/28） 9人×4,000円 36千円 第4回（2/6） 8人×4,000円 32千円 ・委員費用弁償 16千円 ○生ごみ資源化実証 339千円 <ul style="list-style-type: none"> ・液肥タンク液肥運搬手数料 13千円 ・生ごみ処理委託料 326千円 <ul style="list-style-type: none"> 対象：6地区194世帯 内容：家庭生ごみを所定の方法で分別収集し資源化する 実績：14.1 t/年 その他：各協力地区に液肥タンクを設置 					
主な財源						
評価・課題等	<p>○市民・事業者・有識者等で構成する委員会での協議により、生ごみ資源化へ向けた具体的方策を検討し、平成30年度に一般家庭の生ごみ全量資源化という目標を設定することができた。</p> <p>○生ごみ資源化実証により、分別上の課題などをより具体的に把握することができ、一般家庭の生ごみ資源化の拡大に向け検討材料とすることができた。</p> <p>○今後、生ごみ全量資源化に向け、市民への普及啓発と分別収集運搬体制や受け入れ施設の整備を検討していく必要がある。</p>					
事業所管課	農林水産環境部/環境バイオマス推進課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	19再生可能エネルギー推進事業		
細事業名	02 再生可能エネルギー推進事業			決算書	P.180	
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	② 新しいエネルギーの導入と活用		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額		
1,865千円	1,874千円	9千円	99.5%	2,422千円		
目的	環境の保全に貢献するとともに、地域資源を活用した豊かで自立した持続可能な地域社会の形成を図るため、再生可能エネルギーを推進する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○政策企画委員 100 千円 「地域経済の活性化モデル開発に関すること」を担当 大久保 和孝氏 任期：H25.4.1～H26.3.31 ・政策企画委員報酬 100千円 ○再生可能エネルギー導入促進会議 304 千円 導入基本方針に基づき、再生可能エネルギー事業の発掘、事業化等を推進（委員10人） 4回開催 H25.4.30（火）／7.4（木）／11.19（火）／H26.3.19（水） ・再生可能エネルギー導入促進会議委員謝金 28千円 ・委員費用弁償 276千円 ○普通旅費 271 千円 ○普及啓発映画上映会等 195 千円 再生可能エネルギーの利活用と今後の地域展開を考える機会の提供 意見交換会 H25.10.15（火） 峰山地域公民館 参加者 5団体 5人 ドキュメンタリー映画上映会・座談会 ①H26.1.21（火） 峰山総合福祉センター 参加者 26人 ②H26.1.22（水） 京丹後市久美浜庁舎 参加者 21人 ・印刷製本費 64千円 新聞折込 67千円 通信運搬費 1千円 映画借上料 63千円 ○ハンズオン支援業務委託料 895 千円 事業化検討等における実践活動支援（助言・指導） 3分野（コミュニティ形成分野／資金計画・経済性／環境適応） ○薪ストーブ・ペレットストーブ設置補助金（2件） 100 千円 薪ストーブ・木質ペレットストーブの設置に対し補助金を交付 					
主な財源						
評価・課題等	<p>○上記実績のほか、当該事業を通し、市民太陽光発電所事業特別会計の設置、同整備工事の実施、木質バイオマス利活用事業の推進、再生可能エネルギー事業アイデア・市有施設活用型太陽光発電普及促進事業の公募等、再生可能エネルギーの利用普及を進めることができた。</p> <p>○地域での再生可能エネルギーの利活用推進に向け、地域主体、コミュニティ単位による能動的な再生可能エネルギー利活用、事業化等を促す必要がある。</p>					
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	21市民太陽光発電所事業特別会計繰出金		
細事業名	01 市民太陽光発電所事業特別会計繰出金			決算書	P.182	
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	② 新しいエネルギーの導入と活用		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額		
1,900千円	1,900千円	0千円	100.0%	0千円		
目的	市民太陽光発電所事業特別会計の設置に伴い、必要な経費を一般会計から市民太陽光発電所事業特別会計に繰り出す。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○市民太陽光発電所事業特別会計繰出金 1,900 千円 事務費分 					
主な財源						
評価・課題等						
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	50環境衛生一般経費		
細事業名	01 環境衛生一般経費			決算書	P.182	
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
1,814千円	1,844千円	30千円	98.3%	1,259千円		
目的	環境衛生事業の円滑な推進に必要な一般経費、関連団体への負担金等					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>事務用品などの購入、出張旅費の支出、公用車の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅費（普通旅費） 638千円 需用費 539千円 <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費 14千円 燃料費 335千円 公用車等修繕料 190千円 役務費（自動車登録手数料、自動車保険料） 206千円 委託料（バス運転委託料 ※丹後環境シンポジウム発表児童送迎） 8千円 使用料及び賃借料（自動車借上料、有料道路通行料、駐車場使用料） 241千円 負担金、補助及び交付金 152千円 <ul style="list-style-type: none"> 丹後の豊かな環境づくり推進会議負担金 142千円 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 少年少女エコ体験ツアー（参加者：24人） 実施日：平成25年8月19日（月） 会場：世屋高原家族旅行村しおぎり荘 丹後環境シンポジウム（参加者：約300人） 実施日：平成26年2月2日（日） 会場：みやづ歴史の館文化ホール </div> <ul style="list-style-type: none"> バイオガス推進協議会負担金 10千円 公課費（自動車重量税） 30千円 					
主な財源						
評価・課題等	<p>○適切な事務執行により、環境衛生事業を円滑に実施することができた。</p> <p>○民間委員を主体とする丹後の豊かな環境づくり推進会議への参加により、関係団体や他の自治体との連携強化と環境衛生事業の推進を図ることができた。</p>					
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	08公害対策費	01公害対策事業		
細事業名	01 公害対策事業			決算書	P.182	
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
987千円	1,089千円	102千円	90.6%	1,089千円		
目的	野焼きや騒音・振動・悪臭などの苦情等に対し、京都府、自治会等とも連携を図りつつ解決に向けた対応を行うことにより、公害の発生と被害を抑制する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>◎野焼き 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく行政指導を5件行った。</p> <p>◎騒音・振動・悪臭 騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法に基づく対応ができない事案に対しては、当事者間の調整、相談窓口の案内等を5件行った。</p> <p>◎水質・大気汚染 水質汚濁防止法、大気汚染防止法に基づく京都府の対応に2件協力した。</p> <p>◎自動車騒音の常時監視（H25.12～H26.3 国道178号線） 騒音規制法第18条に基づき自動車騒音の常時監視及び面的評価業務を行い、本市内での騒音暴露状況は環境基準値以下の数値であることを確認した。</p> <p>○旅費 20千円 ・職員出張旅費</p> <p>○委託料 957千円 ・草刈委託料（網野町小浜地内樋越川 年1回） 49千円 ・水質検査委託料 89千円 （峰山町：大糸川、風呂川、小西川、大谷川 網野町：三原川 年1回） ・自動車騒音常時監視面的評価業務委託 819千円</p> <p>○使用料及び賃借料 10千円 ・酸性雨測定地土地借上料（弥栄町田中地内100㎡）</p>					
主な財源						
評価・課題等	<p>○公害防止及び苦情案件に対し、迅速かつ適正に対応することができた。</p> <p>○騒音や悪臭等に関する苦情が継続して発生しているため、公害防止に向けた広報をより積極的に行っていく必要がある。</p> <p>○自動車騒音常時監視面的評価業務を専門業者に委託し実施することができ、結果についても問題なかった。</p>					
事業所管課	市民部／市民課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費	02網野火葬場管理運営事業		
細事業名	01 網野火葬場管理運営事業			決算書	P.184	
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目 ① 自然環境の保全と創造			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額		
5,732千円	5,833千円	101千円	98.2%	6,334千円		
目的	火葬場の維持管理、火葬執行及び霊柩車運行委託の管理業務を行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	火葬による焼骨と、収骨後の残骨灰の適切な処理を行うとともに、施設の老朽化に伴う火葬炉及びバーナーの不良箇所の修繕を行った。					
	○共済費	・労災保険料（臨時職員1人分）		27千円		
	○賃金	・臨時職員賃金（火葬作業、周辺整備作業）		2,413千円		
	○需用費			2,191千円		
		・消耗品費（消石灰、ろうそく、線香等）		29千円		
		・燃料費（灯油）		1,187千円		
		・光熱水費		86千円		
		・修繕料（火葬炉内のライニング修繕、バーナー修理等）		889千円		
	○役務費			91千円		
		・通信運搬費（電話代）		30千円		
	・手数料（臨時職員健康診断）		9千円			
	・保険料（共済保険料：建物、自動車）		52千円			
○委託料			1,010千円			
	・残骨灰処理委託料		70千円			
	・霊柩車運行業務委託料（延べ163回）		873千円			
	・雑木伐採委託料		67千円			
	年度	火葬場使用料	対前年度増減率	火葬件数	対前年度増減率	
	H25	2,781千円	△ 0.9%	194件	0.5%	
	H24	2,806千円	△ 2.1%	193件	△ 1.0%	
	H23	2,867千円	17.1%	195件	14.0%	
主な財源	使用料	火葬場使用料	2,781千円			
評価・課題等	○施設の適切な維持管理に努め、火葬業務を適正に執行することができた。					
	○火葬炉設備の老朽化が進む中、新火葬場稼働までの間、安定稼働ができるように修繕及び維持管理に努める必要がある。					
事業所管課	市民部/市民課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費	03竹野川斎場管理運営事業		
細事業名	01 竹野川斎場管理運営事業			決算書	P.184	
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目 ① 自然環境の保全と創造			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額		
13,670千円	13,797千円	127千円	99.0%	13,092千円		
目的	火葬場の維持管理、火葬執行及び霊柩車の運行管理業務を行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	火葬による焼骨と、収骨後の残骨灰の適切な処理を行うとともに、施設の老朽化に伴う火葬炉等の不良箇所の修繕を行った。					
	○共済費	・臨時職員労災保険料		65千円		
	○賃金	・臨時職員賃金（火葬業務2人）		5,232千円		
	○需用費			5,132千円		
		・消耗品費（棺架台用ステンレス製五徳、消石灰等）		156千円		
		・燃料費、光熱水費		2,970千円		
		・修繕料（火葬炉及び煙道、霊柩車修繕等）		2,006千円		
	○役務費			155千円		
		・通信費（電話代）		34千円		
		・手数料（臨時職員健康診断手数料）		29千円		
	・保険料（建物火災保険料、霊柩車（2台）損害保険料）		92千円			
○委託料			3,012千円			
	・残骨灰処理委託料（残骨灰埋葬量2 t）		143千円			
	・霊柩車運行業務委託料（412回）		2,812千円			
	・その他施設管理委託料（施設清掃、庭木剪定等）		57千円			
○その他（テレビ受信料、清掃用具借上料）			74千円			
	年度	火葬場使用料	対前年度増減率	使用件数	対前年度増減率	
	H25	7,389千円	1.6%	544件	3.2%	
	H24	7,273千円	0.5%	527件	△0.8%	
	H23	7,237千円	3.9%	531件	2.3%	
主な財源	使用料	火葬場使用料	7,389千円			
評価・課題等	○火葬場の使用件数は、前年に比べてわずかに増加した。施設管理は衛生センター職員で兼務し、霊柩車運行は全て委託することにより、火葬の執行を適切に行うことができた。					
	○火葬炉設備の老朽化が進む中、新火葬場稼働までの間、安定稼働ができるように修繕及び維持管理に努める必要がある。					
事業所管課	市民部/衛生センター					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費	04久美浜火葬場管理運営事業																				
細事業名	01 久美浜火葬場管理運営事業			決算書 P.186																				
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目 ① 自然環境の保全と創造																					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																				
5,703千円	5,726千円	23千円	99.5%	5,555千円																				
目的	火葬場の維持管理、火葬執行及び霊柩車運行委託の管理業務を行う。																							
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>火葬による焼骨と、収骨後の残骨灰の適切な処理を行うとともに、施設の老朽化に伴う火葬炉等の不良箇所の修繕を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○共済費 ・ 労災保険料（臨時職員1人分） 26 千円 ○賃金 ・ 臨時職員賃金（火葬作業、周辺整備作業） 2,094 千円 ○需用費 2,165 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消耗品費（ステンレス製五徳、消石灰、ろうそく、線香等） 147 千円 ・ 燃料費（A重油） 1,279 千円 ・ 光熱水費 321 千円 ・ 修繕料（炉内耐火レンガ交換、霊柩車車検） 418 千円 ○役務費 117 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 通信運搬費（電話代） 34 千円 ・ 手数料（臨時職員健康診断、自動車登録手数料等） 28 千円 ・ 保険料（共済保険料：建物、自動車） 55 千円 ○委託料 1,276 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 残骨灰処理委託料 63 千円 ・ 霊柩車運行業務委託料（延べ159回） 1,213 千円 ○公課費 25 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車重量税 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>火葬場使用料</th> <th>対前年度増減率</th> <th>火葬件数</th> <th>対前年度増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>2,461千円</td> <td>7.9%</td> <td>167件</td> <td>8.4%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>2,280千円</td> <td>△ 0.7%</td> <td>154件</td> <td>△ 3.8%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>2,295千円</td> <td>△ 1.1%</td> <td>160件</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>				年度	火葬場使用料	対前年度増減率	火葬件数	対前年度増減率	H25	2,461千円	7.9%	167件	8.4%	H24	2,280千円	△ 0.7%	154件	△ 3.8%	H23	2,295千円	△ 1.1%	160件	0.0%
年度	火葬場使用料	対前年度増減率	火葬件数	対前年度増減率																				
H25	2,461千円	7.9%	167件	8.4%																				
H24	2,280千円	△ 0.7%	154件	△ 3.8%																				
H23	2,295千円	△ 1.1%	160件	0.0%																				
主な財源	使用料 火葬場使用料 2,461千円																							
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の適切な維持管理に努め、火葬業務を適正に執行することができた ○火葬炉設備の老朽化が進む中、新火葬場稼働までの間、安定稼働ができるように修繕及び維持管理に努める必要がある。 																							
事業所管課	市民部/市民課																							

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費	05火葬場建設事業						
細事業名	01 火葬場建設事業			決算書 P.186						
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目 ① 自然環境の保全と創造							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額						
217,716千円	472,812千円	255,096千円	46.0%	492,245千円						
目的	新火葬場建設のための事業を推進する。									
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>新火葬場整備のため、用地造成（擁壁）工事、上下水道管渠布設工事を行った。また、建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事に着手した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施工監理委託料 6,030 千円 （建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事） ○工事請負費 209,072 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 用地造成（擁壁）工事 25,443 千円 ・ 上下水道管渠布設工事 46,329 千円 ・ 建築主体工事 100,000 千円 ・ 機械設備工事 14,300 千円 ・ 電気設備工事 23,000 千円 ○負担金 2,345 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水道加入分担金 164 千円 ・ 電力引込工事負担金 2,181 千円 ○旅費、手数料 269 千円 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>参考</td> <td>通次繰越額を除いた最終予算額</td> <td>217,822千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な執行率</td> <td>99.9%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ■平成26年度への繰越事業 254,990 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工監理委託（平成27年1月完成予定） 810 千円 ・ 建築主体工事（平成26年10月完成予定） 194,724 千円 ・ 電気設備工事（平成26年9月完成予定） 31,979 千円 ・ 機械設備工事（平成26年9月完成予定） 27,477 千円 				参考	通次繰越額を除いた最終予算額	217,822千円		実質的な執行率	99.9%
参考	通次繰越額を除いた最終予算額	217,822千円								
	実質的な執行率	99.9%								
主な財源	市債 火葬場整備事業債（合併特例債） 206,800千円									
評価・課題等	平成26年度には、建設主体工事等を完成させるとともに、火葬炉設備工事及び外構関係工事を着実に完成させる必要がある。									
事業所管課	市民部/市民課									

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費	05火葬場建設事業						
細事業名	01 火葬場建設事業（繰越）			決算書	P.186					
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 繰越予算額						
10,631千円	10,632千円	1千円	99.9%	10,632千円						
目的	新火葬場建設のための事業を推進する。									
主要な事務・事業及び成果の概要	【明許繰越事業分】 新火葬場建設のための建築設計及び建設用地までの上下水道本管布設のための管渠測量、詳細設計を行った。									
	<table border="0"> <tr> <td>○設計委託料</td> <td>10,631千円</td> </tr> <tr> <td>・建築設計業務委託</td> <td>3,370千円</td> </tr> <tr> <td>・上下水道管渠測量、詳細設計業務委託</td> <td>7,261千円</td> </tr> </table>					○設計委託料	10,631千円	・建築設計業務委託	3,370千円	・上下水道管渠測量、詳細設計業務委託
○設計委託料	10,631千円									
・建築設計業務委託	3,370千円									
・上下水道管渠測量、詳細設計業務委託	7,261千円									
主な財源	市債 火葬場整備事業債（合併特別債）			10,000千円						
評価・課題等	建築設計と上下水道管渠布設設計を平成25年5月に完了することができ、工事に備えることができた。									
事業所管課	市民部／市民課									

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	10水道費	01簡易水道事業特別会計繰出金	
細事業名	01 簡易水道事業特別会計繰出金			決算書	P.186
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
269,373千円	269,373千円	0千円	100.0%	269,373千円	
目的	総務省から示される簡易水道事業に対する繰出基準を参考に、簡易水道事業特別会計へ繰出金を支出することにより、同会計の経営の健全化を促進し、経営基盤の強化を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	一般会計から簡易水道事業特別会計に対して繰出金を支出した。				
	【繰出金の内容】				
基準内	項 目			繰 出 金	
	起債元利償還金（臨時措置分）			6,048千円	
基準外	起債元利償還金（簡易水道事業債）			88,096千円	
	起債元利償還金（未普及解消緊急対策分）			101,225千円	
児童手当			1,360千円		
小 計			196,729千円		
施設維持管理費			55,338千円		
建設改良費			17,306千円		
小 計			72,644千円		
合 計			269,373千円		
主な財源					
評価・課題等					
事業所管課	上下水道部／水道整備課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	10水道費	02水道事業会計繰出金
細事業名	01 水道事業会計繰出金			決算書 P.186
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
708千円	5,712千円	5,004千円	12.3%	26,212千円

目的	水道水の安定供給を確立するため、上水道統合事業を実施する水道事業会計を支援する。									
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>水不足が懸念される網野町、丹後町及び大宮町給水区域への水融通を行うための施設整備に対して、出資金を支出した。</p> <p>○児童手当分繰出金 708 千円</p> <table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>1,212千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>58.4%</td> </tr> </table> <p>■平成26年度への繰越事業</p> <p>○中野浄水場改良事業 4,500 千円 (事業費 9,000千円) (平成26年6月完成)</p>				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	1,212千円		実質的な予算執行率	58.4%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	1,212千円								
	実質的な予算執行率	58.4%								
主な財源										
評価・課題等										
事業所管課	上下水道部/水道整備課									

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	10水道費	02水道事業会計繰出金
細事業名	01 水道事業会計繰出金 (繰越)			決算書 P.188
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市	計画項目	⑥ 上下水道の整備
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 繰越予算額
2,600千円	137,000千円	134,400千円	1.8%	137,000千円

目的	水道水の安定供給を確立するため、上水道統合事業を実施する水道事業会計を支援する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>水不足が懸念される大宮町給水区域への水融通を行うための施設整備に対して、出資金を支出した。</p> <p>○善王寺浄水場改良事業 2,600 千円 (事業費 5,250千円) 取水工及び導水管測量設計業務 一式</p>			
主な財源	市債	水道事業一般会計出資債 (合併特例債)	2,600千円	
評価・課題等				
事業所管課	上下水道部/水道整備課			

予算科目	04衛生費	02清掃費	01清掃総務費	02古紙リサイクル推進事業		
細事業名	01 古紙リサイクル推進事業			決算書	P.188	
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目 ④ 循環型社会の構築			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額		
13,951千円	13,993千円	42千円	99.6%	16,000千円		
目的	資源として再利用できる古紙等の回収活動を行う団体に対して補助金を交付することにより、市民のごみ問題への参加意識の高揚を図るとともに再資源化を促進する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	古紙回収を行う団体（共同作業所、小中学校PTA、婦人会等）に対し、回収実績に応じた補助金を交付することにより、市民のリサイクル意識の向上、古紙の再資源化の推進及び焼却処分のごみ量の抑制につながった。					
	○負担金、補助金及び交付金 13,951 千円					
	<ul style="list-style-type: none"> 古紙回収団体補助金（5円/kg×2,790,213kg） 申請件数 延べ145 件 交付団体数 57 団体 					
	【内訳】 (単位：kg)					
	年度	新聞紙	段ボール	雑誌	紙パック	合計
	H25	1,029,610	1,064,390	672,800	23,413	2,790,213
	H24	1,127,470	763,880	1,068,810	17,873	2,978,033
	H23	1,186,186	792,605	1,124,350	21,565	3,124,706
主な財源	諸収入 オークション宝くじ市町村等交付金 6,000千円					
評価・課題等	○焼却施設の処理負荷減及び最終処分場の延命化（焼却灰の減量）を図るため、今後もリサイクル意識の啓発や再資源化による古紙の減量に取り組む必要がある。 ○峰山庁舎及び各市民局での紙ごみ（雑紙類）の分別効果の実証をもとに、市各施設及び一般家庭等への拡大を検討する必要がある。					
事業所管課	市民部/市民課					

予算科目	04衛生費	02清掃費	01清掃総務費	50清掃総務一般経費	
細事業名	01 清掃総務一般経費			決算書	P.188
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目 ③ ごみ・廃棄物対策		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
7,183千円	7,188千円	5千円	99.9%	6,836千円	
目的	各自治会の協力を得て、資源ごみステーションの管理や分別収集の指導の実施など、ごみ減量化やリサイクル意識の向上及び地域の環境整備を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○報酬 604 千円				
	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物減量等推進審議会委員報酬（25人 視察を含め7回開催） 				
	○報償費 6,239 千円				
	<ul style="list-style-type: none"> 報償金（廃棄物減量等協力謝金） 本事業の目的を達成するため、地元自治会へ廃棄物減量等協力謝金を支払った。 				
		ステーション数	協力謝金		
	峰山町	49 箇所	1,302 千円		
	大宮町	38 箇所	1,069 千円		
	網野町	89 箇所	1,477 千円		
	丹後町	101 箇所	701 千円		
	弥栄町	35 箇所	586 千円		
	久美浜町	100 箇所	1,104 千円		
	合計	412 箇所	6,239 千円		
	※廃棄物減量等協力謝金は、地区ごとの「ごみステーション数×6,500円」又は「住基人口×100円」のどちらか多い額				
	○旅費 172 千円				
	<ul style="list-style-type: none"> 費用弁償（廃棄物減量等推進審議会委員） 75 千円 職員出張旅費 97 千円 				
	○需用費ほか 158 千円				
	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品費、保険料、有料道路通行料 				
	○負担金 10 千円				
	<ul style="list-style-type: none"> 京都府廃棄物対策協議会負担金 				
主な財源					
評価・課題等	○廃棄物減量等推進審議会を開催し、「告示産廃の受入」、「し尿処理料金の改定」等について答申をいただき、その方向性を明確にすることができた。 ○各地区の資源ごみステーションでの分別指導やリサイクルの啓発、ステーションの管理を地元自治会等の協力を得て行うことにより、円滑なごみ収集やリサイクルごみの分別収集を実施することができた。				
事業所管課	市民部/市民課				

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	02家庭ごみ収集運搬事業			
細事業名	01 家庭ごみ収集運搬事業			決算書	P.190		
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目 ③ ごみ・廃棄物対策				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
208,969千円	208,973千円	4千円	99.9%	210,035千円			
目的	分別収集によってごみの減量化及びリサイクルの推進を図り、ごみの収集運搬を円滑かつ合理的に行い清潔で美しいまちづくりを目指す。						
主要な事務・事業及び成果の概要	ごみ袋の在庫管理及び発注製造を行い、業者に販売を委託した。また、一般廃棄物収集運搬業務を民間業者へ委託し、スムーズな収集運搬に努めた。						
	○需用費 17,625 千円						
	・消耗品 17,379 千円 (可燃ごみ袋…大 170万枚、小 72.5万枚、ミニ 21万枚 不燃ごみ袋…大 11万枚、資源ごみ回収ボックス等)						
	・印刷製本費(ごみ収集カレンダー 26,300枚) 246 千円						
	○役務費 7,934 千円						
	・手数料 (ごみ袋販売手数料) ごみ袋販売委託業者(H26.3.31現在) 165業者(191店舗)						
	ごみ袋販売枚数						
		大	小	ミニ			
	可燃	1,804,000枚	710,500枚	190,200枚			
	不燃	116,330枚	44,500枚				
○委託料 183,410 千円							
・一般廃棄物収集委託料(7業者)							
主な財源	手数料	可燃ごみ(ごみ袋)処理手数料	71,183千円				
	手数料	粗大ごみ処理手数料	38千円				
	手数料	一般廃棄物収集運搬業許可手数料	130千円				
	手数料	不燃ごみ(ごみ袋)処理手数料	4,380千円				
	諸収入	資源回収の古紙販売代金	124千円				
評価・課題等	○分別収集の実施により、ごみの最終処分量の減量化とリサイクルの推進を図ることができた。また、ごみの収集運搬を円滑かつ適切に実施することにより、生活環境の保全の確保につながった。						
	○今後も家庭ごみ収集運搬業務の安定実施とともに、ごみの減量化及びリサイクルの推進を図る必要がある。						
事業所管課	市民部/市民課						

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	03峰山クリーンセンター-管理運営事業			
細事業名	01 峰山クリーンセンター-管理運営事業			決算書	P.190		
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目 ③ ごみ・廃棄物対策				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
489,153千円	489,251千円	98千円	99.9%	493,000千円			
目的	中間処理(焼却、分別保管)施設の維持管理業務を行うことにより、市内で発生する可燃ごみ及び資源ごみを円滑かつ適正に処理する。						
主要な事務・事業及び成果の概要	市内で発生する一般廃棄物(可燃ごみ、資源ごみ)を処理するため、施設の運営及び維持管理等を行った。						
	○クリーンセンター運営管理委託料 241,384 千円						
	○クリーンセンター整備工事設計監理委託料 2,415 千円						
	○クリーンセンター整備工事費(焼却施設修繕・維持工事) 130,200 千円						
	○汚染負荷量賦課金 432 千円						
	○その他の経費(薬品代、光熱水費、地元対策交付金等) 114,722 千円						
	【峰山クリーンセンター搬入状況】						
		総搬入量	対前年度増減率	業者持込	直接持込		
	H25	18,808,180kg	△0.5%	10,678,790kg	8,129,390kg		
	H24	18,896,810kg	2.5%	11,142,610kg	7,754,200kg		
H23	18,441,760kg	2.2%	11,279,830kg	7,161,930kg			
○可燃ごみ焼却量 17,343,450 kg							
○資源ごみ処理量 982,899 kg							
○ダイオキシン類測定調査結果(H25.8.20、29測定)							
1号炉排ガス 0 ng-TEQ/Nm ³							
2号炉排ガス 0.0009 ng-TEQ/Nm ³							
3号炉排ガス 0 ng-TEQ/Nm ³							
4号炉排ガス 0.000012 ng-TEQ/Nm ³							
1.2号炉焼却灰 0 ng-TEQ/g							
3.4号炉焼却灰 0.0046 ng-TEQ/g							
飛灰(薬品処理後) 0.062 ng-TEQ/g							
※ 排ガス中のダイオキシン類基準値: 0.1ng							
※ ng(ナノグラム): 10億分の1グラム							
主な財源	使用料	公有財産使用料	178千円				
	手数料	峰山クリーンセンター持込ごみ処理手数料	35,979千円				
	国補	地域の元気臨時交付金	54,000千円				
	府補	未来づくり交付金(峰山クリーンセンター-整備事業)	9,581千円				
	諸収入	資源ごみ売却代金	13,946千円				
評価・課題等	○市内で発生する可燃ごみ及び資源ごみを円滑かつ適正に処理できた。						
	○焼却処理による排ガス中のダイオキシン類を含む公害関係の検査結果はいずれも法定基準値内であり、施設の安全稼働ができた。						
	○市内小学生等へ施設見学会を実施し、環境教育の場として活用できた。(25校、1団体)						
	○施設の稼働予定年限である平成28年度末に向けて、現在、施設の在り方を検討中である。						
事業所管課	市民部/市民課						

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	04峰山最終処分場管理運営事業																				
細事業名	01 峰山最終処分場管理運営事業			決算書 P.192																				
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策																				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																				
18,357千円	18,536千円	179千円	99.0%	17,978千円																				
目的	峰山最終処分場施設の適切な維持管理業務を行うことにより、市内で発生する不燃ごみ（焼却灰含む）及び不燃性粗大ごみを適正に処理（埋立・再資源化）する。																							
主要な事務・事業及び成果の概要	主に峰山町地域から搬入された不燃ごみの埋立処理を行った。また、再生可能な廃棄物（金属類や廃家電品）の分別を行い、再資源化に向けた持出処理を行ったことにより、埋立ごみの抑制と再資源化の向上ができた。																							
	<ul style="list-style-type: none"> ○最終処分場運営管理委託料 8,605 千円 ○水質検査等委託料（ダイオキシン類含む） 881 千円 ○PH計・導電率計修繕工事（施設の修繕・保守点検等整備） 460 千円 ○粗大ごみ（廃家電・廃プラスチック品）処理手数料 422 千円 ○その他の経費（薬品代、光熱水費、施設運用協力金等） 7,989 千円 																							
	【峰山最終処分場搬入状況】																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>総搬入量</th> <th>対前年度増減率</th> <th>業者持込</th> <th>直接持込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>800,820kg</td> <td>△22.8%</td> <td>137,040kg</td> <td>663,780kg</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>1,036,770kg</td> <td>29.6%</td> <td>141,380kg</td> <td>895,390kg</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>799,820kg</td> <td>△5.9%</td> <td>133,120kg</td> <td>666,700kg</td> </tr> </tbody> </table>					総搬入量	対前年度増減率	業者持込	直接持込	H25	800,820kg	△22.8%	137,040kg	663,780kg	H24	1,036,770kg	29.6%	141,380kg	895,390kg	H23	799,820kg	△5.9%	133,120kg	666,700kg
	総搬入量	対前年度増減率	業者持込	直接持込																				
H25	800,820kg	△22.8%	137,040kg	663,780kg																				
H24	1,036,770kg	29.6%	141,380kg	895,390kg																				
H23	799,820kg	△5.9%	133,120kg	666,700kg																				
	※焼却灰を除く。																							
	<p><放流水及び地下水ダイオキシン類測定結果>（H25.11.22測定）</p> <p>放流水ダイオキシン類 0.000093 pg-TEQ/ℓ（基準値：10pg）</p> <p>地下水ダイオキシン類（上流） 0.000031 pg-TEQ/ℓ（基準値：1pg）</p> <p>地下水ダイオキシン類（下流） 0.041 pg-TEQ/ℓ（基準値：1pg）</p> <p style="text-align: center;">※pg（ピコグラム）：1兆分の1グラム</p>																							
	<p><リサイクル処理量></p> <p>金属類（売却） 46,790 kg 廃家電品（処分） 25,010 kg</p> <p>廃プラスチック（処分） 4,220 kg</p>																							
主な財源	手数料 峰山最終処分場持込ごみ処理手数料			2,662千円																				
	諸収入 資源ごみ売却代金			1,228千円																				
評価・課題等	○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。																							
	○浸出水処理施設から放流する水質検査結果は法定基準値内であり、施設の安全稼働ができた。																							
	○施設の稼働予定年限である平成27年度末に向けて、埋立残余量の監視を行いながら、地元集落との協定継続協議を進める必要がある。また、埋立ごみ減量化に向けた取組を推進するとともに、将来の施設計画についても検討を始める必要がある。（25年7月：埋立進捗率56%）																							
事業所管課	市民部／市民課																							

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	05大宮最終処分場管理運営事業																				
細事業名	01 大宮最終処分場管理運営事業			決算書 P.192																				
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策																				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																				
17,072千円	17,158千円	86千円	99.4%	16,676千円																				
目的	大宮最終処分場施設の適正な維持管理業務を行うことにより、市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理（埋立・再資源化）する。																							
主要な事務・事業及び成果の概要	主に大宮町地域から搬入された不燃ごみの埋立処理を行った。また、再生可能な廃棄物（金属類や廃家電品）の分別を行い、再資源化に向けた持出処理を行ったことにより、埋立ごみの抑制と再資源化の向上ができた。																							
	<ul style="list-style-type: none"> ○最終処分場運営管理委託料 7,573 千円 ○水質検査等委託料（ダイオキシン類含む） 452 千円 ○粗大ごみ（廃家電・廃プラスチック品）処理手数料 175 千円 ○その他の経費（薬品代、光熱水費、施設運用協力金等） 8,872 千円 																							
	【大宮最終処分場搬入状況】																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>総搬入量</th> <th>対前年度増減率</th> <th>業者持込</th> <th>直接持込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>1,751,500kg</td> <td>△7.4%</td> <td>112,710kg</td> <td>1,638,790kg</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>1,890,620kg</td> <td>2.5%</td> <td>125,520kg</td> <td>1,765,100kg</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>1,843,900kg</td> <td>△10.9%</td> <td>121,780kg</td> <td>1,722,120kg</td> </tr> </tbody> </table>					総搬入量	対前年度増減率	業者持込	直接持込	H25	1,751,500kg	△7.4%	112,710kg	1,638,790kg	H24	1,890,620kg	2.5%	125,520kg	1,765,100kg	H23	1,843,900kg	△10.9%	121,780kg	1,722,120kg
	総搬入量	対前年度増減率	業者持込	直接持込																				
H25	1,751,500kg	△7.4%	112,710kg	1,638,790kg																				
H24	1,890,620kg	2.5%	125,520kg	1,765,100kg																				
H23	1,843,900kg	△10.9%	121,780kg	1,722,120kg																				
	※焼却灰を除く。																							
	<p><放流水及び地下水ダイオキシン類測定結果>（H25.10.22測定）</p> <p>放流水ダイオキシン類 0.016 pg-TEQ/ℓ（基準値：10pg）</p> <p>地下水ダイオキシン類（上流） 0.0039 pg-TEQ/ℓ（基準値：1pg）</p> <p>地下水ダイオキシン類（下流） 0.021 pg-TEQ/ℓ（基準値：1pg）</p> <p style="text-align: center;">※pg（ピコグラム）：1兆分の1グラム</p>																							
	<p><リサイクル処理量></p> <p>金属類（売却） 24,190 kg 廃家電品（処分） 9,010 kg</p> <p>古紙類（売却） 3,940 kg 廃プラスチック（処分） 2,180 kg</p>																							
主な財源	手数料 大宮最終処分場持込ごみ処理手数料			6,291千円																				
	諸収入 資源ごみ売却代金			635千円																				
評価・課題等	○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。																							
	○浸出水処理施設から放流する水質検査結果は法定基準値内であり、施設の安全稼働ができた。																							
	○施設の稼働予定年限である平成34年度末に向けて地元集落との協定更新を行うことができた。また、今後も埋立ごみ減量化に向けた取組を推進するとともに、将来の施設計画についても検討を始める必要がある。（25年7月：埋立進捗率65%）																							
事業所管課	市民部／市民課																							

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	06網野最終処分場管理運営事業																				
細事業名	01 網野最終処分場管理運営事業			決算書 P.194																				
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策																				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																				
59,263千円	59,281千円	18千円	99.9%	61,144千円																				
目的	網野最終処分場施設の適正な維持管理業務を行うことにより、市内で発生する不燃ごみ(焼却灰含む)及び不燃性粗大ごみを適正に処理(埋立・再資源化)する。																							
主要な 事業及び 成果の 概要	主に網野町地域から搬入された不燃ごみの埋立処理を行った。また、再生可能な廃棄物(金属類や廃家電品)の分別を行い、再資源化に向けた持出処理を行ったことにより、埋立ごみの抑制と再資源化の向上ができた。																							
	<ul style="list-style-type: none"> ○最終処分場運営管理委託料 21,546 千円 ○水質検査等委託料(ダイオキシン類含む) 1,996 千円 ○浸出水処理施設整備工事(施設の修繕・保守点検等整備) 10,311 千円 ○粗大ごみ(廃家電品) 202 千円 ○その他の経費(水処理の薬品代、光熱水費、施設運用協力金等) 25,208 千円 																							
	【網野最終処分場搬入状況】																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>総搬入量</th> <th>対前年度増減率</th> <th>業者持込</th> <th>直接持込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>1,808,930kg</td> <td>0.4%</td> <td>272,790kg</td> <td>1,536,140kg</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>1,800,880kg</td> <td>△35.1%</td> <td>288,280kg</td> <td>1,512,600kg</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>2,774,940kg</td> <td>58.3%</td> <td>280,240kg</td> <td>2,494,700kg</td> </tr> </tbody> </table>					総搬入量	対前年度増減率	業者持込	直接持込	H25	1,808,930kg	0.4%	272,790kg	1,536,140kg	H24	1,800,880kg	△35.1%	288,280kg	1,512,600kg	H23	2,774,940kg	58.3%	280,240kg	2,494,700kg
	総搬入量	対前年度増減率	業者持込	直接持込																				
H25	1,808,930kg	0.4%	272,790kg	1,536,140kg																				
H24	1,800,880kg	△35.1%	288,280kg	1,512,600kg																				
H23	2,774,940kg	58.3%	280,240kg	2,494,700kg																				
	※焼却灰を除く。																							
	<p><放流水及び地下水ダイオキシン類測定結果>(H25.11.27測定)</p> <p>放流水ダイオキシン類 0.0046 pg-TEQ/l (基準値:10pg)</p> <p>地下水ダイオキシン類(上流) 0.0068 pg-TEQ/l (基準値:1pg)</p> <p>地下水ダイオキシン類(下流) 0.0034 pg-TEQ/l (基準値:1pg)</p> <p>※pg(ピコグラム):1兆分の1グラム</p>																							
	<p><リサイクル処理量></p> <p>金属類(売却) 75,880 kg 廃家電品(処分) 19,230 kg</p>																							
主な 財源	手数料	網野最終処分場持込みごみ処理手数料	3,632千円																					
	国補	地域の元気臨時交付金	6,000千円																					
	諸収入	資源ごみ売却代金	1,992千円																					
評価・ 課題等	○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。																							
	○浸出水処理施設から放流する水質検査結果は法定基準値内であり、施設の安全稼働ができた。○施設の稼働予定年限である平成28年度末に向けて埋立残余量の監視を行いながら、地元集落との協定継続協議を進める必要がある。また、埋立ごみ減量化に向けた取組を推進するとともに、将来の施設計画についても検討を始める必要がある。(25年7月:埋立進捗率64%)																							
事業所管課	市民部/市民課																							

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	07久美浜最終処分場管理運営事業																				
細事業名	01 久美浜最終処分場管理運営事業			決算書 P.196																				
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策																				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																				
38,579千円	38,739千円	160千円	99.5%	35,618千円																				
目的	久美浜最終処分場施設の適正な維持管理業務を行うことにより、市内で発生する不燃ごみ(焼却灰含む)及び不燃性粗大ごみを適正に処理(埋立・再資源化)する。																							
主要な 事業及び 成果の 概要	主に久美浜町地域から搬入された不燃ごみの埋立処理を行った。また、再生可能な廃棄物(金属類や廃家電品)の分別を行い、再資源化に向けた持出処理を行ったことにより、埋立ごみの抑制と再資源化の向上ができた。																							
	<ul style="list-style-type: none"> ○最終処分場運営管理委託料 23,004 千円 ○水質検査等委託料(ダイオキシン類含む) 956 千円 ○浸出水処理施設整備工事(施設の修繕・保守点検等整備) 4,379 千円 ○粗大ごみ(廃家電品処理手数料) 170 千円 ○その他の経費(薬品代、光熱水費、施設運用協力金等) 10,070 千円 																							
	【久美浜最終処分場搬入状況】																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>総搬入量</th> <th>対前年度増減率</th> <th>業者持込</th> <th>直接持込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>700,000kg</td> <td>7.3%</td> <td>125,500kg</td> <td>574,500kg</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>652,470kg</td> <td>3.1</td> <td>128,380kg</td> <td>524,090kg</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>632,790kg</td> <td>△43.0%</td> <td>120,080kg</td> <td>512,710kg</td> </tr> </tbody> </table>					総搬入量	対前年度増減率	業者持込	直接持込	H25	700,000kg	7.3%	125,500kg	574,500kg	H24	652,470kg	3.1	128,380kg	524,090kg	H23	632,790kg	△43.0%	120,080kg	512,710kg
	総搬入量	対前年度増減率	業者持込	直接持込																				
H25	700,000kg	7.3%	125,500kg	574,500kg																				
H24	652,470kg	3.1	128,380kg	524,090kg																				
H23	632,790kg	△43.0%	120,080kg	512,710kg																				
	※焼却灰を除く。																							
	<p><放流水及び地下水ダイオキシン類測定結果>(H25.10.16測定)</p> <p>放流水ダイオキシン類 0.0004 pg-TEQ/l (基準値:10pg)</p> <p>地下水ダイオキシン類(上流) 0.00023 pg-TEQ/l (基準値:1pg)</p> <p>地下水ダイオキシン類(下流) 0.0023 pg-TEQ/l (基準値:1pg)</p> <p>※pg(ピコグラム):1兆分の1グラム</p>																							
	<p><リサイクル処理量></p> <p>金属類(売却) 59,950 kg 廃家電品(処分) 14,720 kg</p>																							
主な 財源	手数料	久美浜最終処分場持込みごみ処理手数料	1,702千円																					
	国補	地域の元気臨時交付金	2,000千円																					
	諸収入	資源ごみ売却代金	1,460千円																					
評価・ 課題等	○市内で発生する不燃ごみ及び不燃性粗大ごみを適正に処理することができた。																							
	○浸出水処理施設から放流する水質検査結果は法定基準値内であり、施設の安全稼働ができた。○施設の稼働予定年限である平成27年度末に向けて埋立残余量の監視を行いながら、地元集落との協定継続協議を進める必要がある。また、埋立ごみ減量化に向けた取組を推進するとともに、将来の施設計画についても検討を始める必要がある。(25年7月:埋立進捗率44%)																							
事業所管課	市民部/市民課																							

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	08有害ごみ処理事業																					
細事業名	01 有害ごみ処理事業			決算書	P.196																				
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目 ③ ごみ・廃棄物対策																						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																					
2,015千円	2,580千円	565千円	78.1%	4,159千円																					
目的	市内で発生する使用済みの乾電池や蛍光管を適正に処理し、再資源化を行う。																								
主要な事務・事業及び成果の概要	市内から発生する使用済み乾電池や蛍光管など水銀を含む製品を無害な処理及び処分を行った。																								
	<ul style="list-style-type: none"> ○需用費 360 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 (蛍光管用蓋付きドラム缶、乾電池用蓋付きドラム缶等) ○委託料 1,655 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・有害ごみ処理委託料 乾電池処理委託料 (53円/kg) 																								
	【乾電池及び蛍光管の処理状況】																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>総処理量</th> <th>対前年度増減率</th> <th>乾電池</th> <th>蛍光灯</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>29,740kg</td> <td>0.6%</td> <td>29,740kg</td> <td>0kg*</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>29,550kg</td> <td>△31.6%</td> <td>13,100kg</td> <td>16,450kg</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>43,220kg</td> <td>△0.6%</td> <td>26,520kg</td> <td>16,700kg</td> </tr> </tbody> </table>						総処理量	対前年度増減率	乾電池	蛍光灯	H25	29,740kg	0.6%	29,740kg	0kg*	H24	29,550kg	△31.6%	13,100kg	16,450kg	H23	43,220kg	△0.6%	26,520kg	16,700kg
	総処理量	対前年度増減率	乾電池	蛍光灯																					
H25	29,740kg	0.6%	29,740kg	0kg*																					
H24	29,550kg	△31.6%	13,100kg	16,450kg																					
H23	43,220kg	△0.6%	26,520kg	16,700kg																					
	※平成25年度における蛍光管の処理は、処理見込量 (約18t) に達しなかったために実施せず、平成26年度実施予定。																								
主な財源																									
評価・課題等	有害ごみ (乾電池) を分別収集した後、専門の処理業者に委託し、適正に処理し再資源化を行うことができた。																								
事業所管課	市民部/市民課																								

予算科目	04衛生費	02清掃費	02塵芥処理費	50塵芥処理一般経費	
細事業名	01 塵芥処理一般経費			決算書	P.196
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目 ③ ごみ・廃棄物対策		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
905千円	1,026千円	121千円	88.2%	1,026千円	
目的	旧尾坂埋立処分地 (網野町尾坂) の湧水処理施設の維持管理及び水質等検査並びに旧不燃物処理場 (峰山町矢田) の水質等検査を行うことで環境負荷を監視し、環境保全を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	旧尾坂埋立処分地の湧水処理施設の保守管理 (機器点検、薬品補充、沈殿物場外処分等)、旧不燃物処理場に係る井戸水及び排水重金属検査を行った。また、旧丹後半島清掃センター及び旧久美浜町清掃センターの汚染負荷量賦課金を支出した。				
	<ul style="list-style-type: none"> ○需用費 579 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 (薬品代: 次亜塩素酸ソーダ、事務用品) 315 千円 ・光熱水費 264 千円 ○委託料 236 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査等委託料 (旧尾坂埋立処分地、旧不燃物処理場) ○使用料及び賃借料 35 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・土地借上料 (旧尾坂埋立処分地: 地権者4人) ○公課費 55 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・汚染負荷量賦課金 (旧丹後半島清掃センター) 46 千円 ・汚染負荷量賦課金 (旧久美浜町清掃センター) 9 千円 <p>※汚染負荷量賦課金 公害健康被害補償制度 (昭和49年9月) により、補償給付及び公害保険福祉事業に必要な費用の相当分をばい煙発生施設設置者から徴収し、公害健康被害への補償へ充てるもの。賦課金の納付義務者は、昭和62年4月以前にばい煙発生施設等を設置し、更にその施設が硫酸化物を排出するもので、最大ガス量の合計が基準以上であった施設の設置者である。現在本市には、汚染負荷量賦課金対象施設は無いものの、当時ばい煙発生施設等を設置していた者には、施設の廃止後も、公害健康被害への補償が終了するまで賦課される。</p>				
主な財源					
評価・課題等	旧尾坂埋立処分地 (網野町尾坂) 跡、旧不燃物処理場 (峰山町矢田) 跡の水質等検査は法定ではないが、今後も環境負荷への監視を継続する。				
事業所管課	市民部/市民課				

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	02し尿収集事業		
細事業名	01 し尿収集事業			決算書	P.198	
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
184,769千円	185,003千円	234千円	99.8%	188,492千円		
目的	竹野川衛生センター（峰山町、大宮町、丹後町、弥栄町域）、網野衛生センター（網野町域）、久美浜衛生センター（久美浜町域）の各施設において、し尿収集業務を行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○し尿収集、運搬の概要 網野町域は市が直営で行い、その他の町域は業者委託で行った。 ・直 営：網野衛生センター管内（し尿収集運搬車5台、市職員4人、臨時職員4人） ・委託業者：竹野川衛生センター管内2社 久美浜衛生センター管内1社					
	○申込方法及び手数料の納付方法 ・申込方法：はがき、ファックス、メール、計画収集（申請による計画的な収集） ・納付方法：し尿処理券、口座振替 [各衛生センターのし尿収集等実績] (し尿対象人口はH26.3.31現在)					
	区 分	収集件数	収集量	収集委託	し尿対象人口	
	竹野川衛生センター	24,473件	14,757kl	119,070千円	13,910人	
	網野衛生センター	15,354件	10,436kl	直営	9,836人	
	久美浜衛生センター	5,246件	4,186kl	33,574千円	3,945人	
	合 計	45,073件	29,379kl	152,644千円	27,691人	
	[収集に要した主な経費]					
	・臨時職員（網野衛生センターし尿収集作業員4人）	9,495 千円				
	・し尿収集車（直営）費用（燃料代1,783千円、修繕895千円等）	4,100 千円				
・申込はがき印刷費（印刷費1,053千円、はがき代750千円）	1,803 千円					
・郵便代（し尿処理券利用者送付用、センター受領書送付用等）	4,096 千円					
・し尿収集運搬委託料（3業者）	152,644 千円					
・し尿処理券販売委託料（販売店数122店舗）	6,505 千円					
・し尿収集運搬車積載VCメーター2台（竹野川衛生センター管内用）	5,124 千円					
・車載計量管理システム変更（し尿処理手数料改定準備）	1,002 千円					
手数料	し尿処理手数料				99,742千円	
主な財源						
評価・課題等	○計画収集の推進及び収集運搬車関連備品の整備により安定したし尿収集運搬業務を行うことができた。網野衛生センター職員1人の退職に伴い、臨時職員を1人増員し業務を遂行した。 ○竹野川衛生センターからの遠距離地域については、「集落別計画収集」を行うことで、し尿収集運搬の効率を上げることができた。今後、下水道への接続や人口減等により、し尿収集件数が減少する中で事業の効率化を図るため、計画収集の積極的な推進を図る必要がある。					
	事業所管課	市民部/衛生センター				

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	03網野衛生センター-管理運営事業		
細事業名	01 網野衛生センター-管理運営事業			決算書	P.200	
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目	③ ごみ・廃棄物対策		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
84,764千円	84,775千円	11千円	99.9%	82,037千円		
目的	網野町域のし尿及び浄化槽汚泥の処理業務を行う。					
主要な事務・事業及び成果の概要	[し尿及び浄化槽汚泥処理実績]					
	区 分	し 尿		浄化槽汚泥		
		収集件数	処理量	収集件数	処理量	
	網野町	15,354件	10,436kl	846件	2,540kl	
	[施設管理運営に要した主な経費]					
	・消耗品費（薬品類、事務用品等）	8,319 千円				
	・燃料費（重油代、車両燃料代）	5,243 千円				
	・光熱水費（電気代、水道代）	17,268 千円				
	・役務費（通信運搬費、保険料、ごみ持込処理手数料）	169 千円				
	・施設維持業務委託料 (運転管理28,980千円、貯留槽清掃3,304千円、その他883千円)	33,167 千円				
・工事請負費 オゾン設備、脱臭設備、乾燥焼却設備整備等	16,695 千円					
・施設機械修繕費（地下タンク液面計取替、塩素濃度計取替等）	3,747 千円					
・その他 コピー機借上料、テレビ受信料	156 千円					
主な財源	手数料	し尿処理手数料				35,999千円
	手数料	浄化槽汚泥処理手数料				3,000千円
	国補	地域の元気臨時交付金				11,000千円
	府補	未来づくり交付金（し尿処理施設整備事業）				1,355千円
評価・課題等	○し尿及び浄化槽汚泥について、処理業務を停滞させることなく管理運営することができた。 ○昭和62年4月から稼働している施設であり、今後も廃棄物処理施設長寿命化計画に沿って、徹底した維持管理に努め、必要最小限の修繕により、施設の存続を図る必要がある。					
	事業所管課	市民部/衛生センター				

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	04竹野川衛生センター管理運営事業			
細事業名	01 竹野川衛生センター管理運営事業			決算書 P.200			
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目 ③ ごみ・廃棄物対策				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額			
158,408千円	158,452千円	44千円	99.9%	154,521千円			
目的	峰山町、大宮町、丹後町、弥栄町域のし尿及び浄化槽汚泥（網野町域浄化槽汚泥の一部含む）の処理業務並びに市内の下水道汚泥の焼却処理を行う。						
主要な事務・事業及び成果の概要	[し尿及び浄化槽汚泥処理実績] (単位: 件、kl) [下水道汚泥処理実績]						
	区分	し尿		浄化槽汚泥	施設名	処理量 (t)	
		収集件数	処理量	収集件数			処理量
	峰山町	9,891	5,908	761	2,379	峰山・大宮浄化センター	618
	大宮町	8,869	5,366	681	1,861	橋浄化センター	89
	網野町	-	-	116	461	丹後浄化センター	75
	丹後町	4,951	3,080	299	1,091	農業集落排水施設(弥栄町)	269
	弥栄町	762	403	99	325	久美浜浄化センター	446
	合計	24,473	14,757	1,956	6,117	網野浄化センター	15
					合計		1,512
	[施設管理運営に要した主な経費]						
	・消耗品費（薬品類、事務用品等）	12,600 千円					
	・燃料費（重油代、車両燃料代）	26,084 千円					
	・光熱水費（電気代、水道代）	33,729 千円					
	・役務費（通信運搬費、手数料、保険料）	417 千円					
	・施設維持業務委託料（運転管理34,524千円、その他6,930千円）	41,454 千円					
	・地元交付金（弥栄町和田野区）	1,200 千円					
	・工事請負費（水処理設備、汚泥処理設備、汚泥乾燥設備整備等）	36,960 千円					
	・施設機械修繕費（自動開閉装置修理、破砕機修理等）	5,723 千円					
	・その他（コピー機借上料、テレビ受信料、重量税等）	241 千円					
主な財源	手数料	し尿処理手数料	63,449千円				
	手数料	浄化槽汚泥処理手数料	5,126千円				
	手数料	下水汚泥処理手数料	18,150千円				
	国補	地域の元気臨時交付金	26,000千円				
	府補	未来づくり交付金（し尿処理施設整備事業）	2,607千円				
評価・課題等	○し尿及び浄化槽汚泥並びに下水道汚泥について、処理業務を停滞させることなく管理運営することができた。						
	○平成11年4月から稼働している施設であり、今後も廃棄物処理施設長寿命化計画に沿って、徹底した維持管理に努め、必要最小限の修繕により、施設の存続を図る必要がある。						
事業所管課	市民部/衛生センター						

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	05久美浜衛生センター管理運営事業	
細事業名	01 久美浜衛生センター管理運営事業			決算書 P.202	
総合計画	基本方針 II 環境循環都市		計画項目 ③ ごみ・廃棄物対策		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
67,042千円	67,514千円	472千円	99.3%	72,329千円	
目的	久美浜町域のし尿及び浄化槽汚泥（網野町域浄化槽汚泥の一部含む）の処理業務を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	[し尿及び浄化槽汚泥処理実績]				
	区分	し尿		浄化槽汚泥	
		収集件数	処理量	収集件数	処理量
	久美浜町	5,246件	4,186kl	632件	3,170kl
	網野町	-	-	80件	414kl
	合計	5,246件	4,186kl	712件	3,584kl
		[施設管理運営に要した主な経費]			
		・消耗品費（薬品類、事務用品等）	1,032 千円		
		・燃料費（ガス代）	35 千円		
		・光熱水費	50,421 千円		
	公共下水使用料44,635千円、電気代・水道代5,786千円				
	・役務費（通信運搬費、保険料、ごみ持込処理手数料）	113 千円			
	・施設維持業務委託料	12,014 千円			
	運転管理9,660千円、貯留槽清掃1,580千円、その他774千円				
	・施設機械修繕費（前処理設備、破砕機修繕等）	3,389 千円			
	・その他（コピー機借上料、電柱添架料等）	38 千円			
主な財源	手数料	し尿処理手数料	35,735千円		
	手数料	浄化槽汚泥処理手数料	2,124千円		
評価・課題等	○し尿及び浄化槽汚泥について、処理業務を停滞させることなく管理運営することができた。				
	○平成元年4月から稼働している施設であり、今後も廃棄物処理施設長寿命化計画に沿って、徹底した維持管理に努め、必要最小限の修繕により、施設の存続を図る必要がある。				
事業所管課	市民部/衛生センター				